4.3.4　植物

1　調査

1）調査項目

調査項目は、以下に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の重要な種の生育状況
・事業実施想定区域及びその周囲の重要な群落の分布状況
・事業実施想定区域及びその周囲の巨樹・巨木林の分布状況

2）調査手法

重要な種及び重要な群落の分布状況について、文献その他の資料及び専門家等へのヒアリングにより調査した。文献その他の資料は以下のとおりである。

・「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センター)
・「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」
（平成28年 宮城県）
・「宮城県植物誌」（平成29年7月 宮城県植物の会）
・「宮城県野生植物目録2017引用標本データベース」（平成30年 宮城県植物の会）
・「宮城の野草」（平成4年 河北新報社）
・「第2回 自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（全国版）」
（昭和56年 環境省生物多様性センター）
・「第3回 自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（全国版）」
（昭和63年 環境省生物多様性センター）
・「第5回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落報告書」
（平成12年3月 環境庁生物多様性センター）

3）調査地域

調査地域は、事業実施想定区域及びその周囲を調査対象とした。なお、調査対象地域は、村田町、柴田町、名取市、岩沼市、川崎町、仙台市太白区とした（沿岸部を除く）。

4）調査結果

(1) 重要な種

重要な種は、文献その他の資料及び専門家等へのヒアリングにより確認された種について、表 4.3-17 の選定基準に基づき、学術上又は希少性の観点から選定した。その結果、重要な種は、表 4.3-18 に示すとおり 52 目 100 科 338 種であったが、事業実施想定区域における確認位置情報は得られなかった。

なお、重要な種の生育環境については、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(宮城県 平成 28 年)等を参照した。

表4.3-17　重要な種の選定基準

分類	略称	名称	カテゴリ
法規制等	①	『文化財保護法』 (昭和 25 年 法律第 214 号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和 50 年 宮城県条例第 49 号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第 14 号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)	・特天：特別天然記念物 ・国天：天然記念物 ・県天：県指定天然記念物 ・町天：町指定天然記念物 ・市天：市指定天然記念物
	②	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成 4 年 法律第 75 号)	・国内:特定国内希少野生動植物種
RDB等	③	『環境省レッドリスト』 (令和 2 年 環境省)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR:絶滅危惧ⅠA 類 ・EN:絶滅危惧ⅠB 類 ・VU:絶滅危惧Ⅱ類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群
	④	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-RED DATA BOOK MIYAGI2016-』 (平成 28 年 宮城県)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・VU:絶滅危惧Ⅱ類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種
	⑤	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2022 年版-』 (令和 4 年 宮城県)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・VU:絶滅危惧Ⅱ類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種

表 4.3-18(1)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
1	ミズゴケ	ミズゴケ	シタミズゴケ				CR+EN	CR+EN	平野及び山地帯の湿地
2	キセルゴケ	キセルゴケ	クマノチョウジゴケ				VU	VU	丘陵及び山地帯の森林
3			クマノゴケ			NT	CR+EN	CR+EN	丘陵及び山地帯の森林
4	スギゴケ	スギゴケ	オキナスギゴケ			CR+EN	VU	VU	森林
5	シッポゴケ	キンシゴケ	ヒメキンシゴケ				DD	DD	裸地
6	ギボウシゴケ	ギボウシゴケ	ヤマトハクチョウゴケ			VU	NT	CR+EN	森林
7	ホンマゴケ	ハリガネゴケ	カサゴケモドキ			VU	CR+EN	CR+EN	湿地、日陰地の地上
8	イヌマゴケ	カワゴケ	コシノヤバネゴケ			CR+EN	CR+EN	CR+EN	川岸や湖沼周辺
9		ハイヒモゴケ	キヨスミイトゴケ				CR+EN	CR+EN	渓谷
10			コハイヒモゴケ				CR+EN	CR+EN	湿度の高い樹上
11	シトネゴケ	キヌゴケ	ヤリノホゴケ				VU	VU	湿地や休耕田、用水路
12		ハイゴケ	コウライイチイゴケ				CR+EN	NT	湿地や休耕田、畦畔
13	ゼニゴケ	ウキゴケ	イチョウウキゴケ			NT	CR+EN	CR+EN	水田
14	ツボミゴケ	ミズゴケ	コアナミズゴケ				CR+EN	CR+EN	丘陵地帯や山地の湿地
15			オオミズゴケ				CR+EN	CR+EN	平野から亜高山帯の湿原
16	コマチゴケ	コマチゴケ	コマチゴケ				CR+EN	CR+EN	湿原の縁を流れる小川
17	クモノスゴケ	チヂレヤハズゴケ	エゾヤハズゴケ				CR+EN	CR+EN	丘陵地帯のコナラ林内
18	クラマゴケモドキ	クラマゴケモドキ	クラマゴケモドキ				CR+EN	CR+EN	丘陵地帯のコナラ林内
19		クサリゴケ	ヤマナカヨウジョウゴケ				VU	VU	湿度の高い渓谷
20			マルバヒメクサリゴケ				VU	VU	丘陵地帯のコナラ
21			ナカジマヒメクサリゴケ				VU	VU	山地帯のハイイヌガヤ等
22	ツボミゴケ	ハネゴケ	ヨコグラハネゴケ				CR+EN	CR+EN	丘陵地帯や島嶼の森林
23		ヤバネゴケ	シフネルゴケ				CR+EN	CR+EN	丘陵地帯や山地帯林内
24	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	スギラン			VU	CR+EN	CR+EN	山地帯のブナ
25	イワヒバ	イワヒバ	イヌカタヒバ			VU			沢沿いの湿った岩
26	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ			NT	NT	NT	水田、池沼
27			ミズニラモドキ			VU	CR+EN	CR+EN	水田、池、湖沼
28	ハナヤスリ	ハナヤスリ	ヤマハナワラビ				VU	VU	日当たりの良い草原
29			トネハナヤスリ			VU	CR+EN	CR+EN	河川域
30	ゼンマイ	ゼンマイ	ヤシャゼンマイ				NT	NT	渓流
31	コケシノブ	コケシノブ	ホソバコケシノブ					NT	低地から標高 3,000m の亜寒帯の岩隙
32			コハイホラゴケ				VU	VU	林内、谷沿いの岸壁
33	サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ			VU	EW	EW	池沼や水田
34		サンショウモ	アカウキクサ			EN	CR+EN		水田や湖
35			サンショウモ			VU	NT	NT	丘陵帯の湿田、水路
36	ウラボシ	イノモトソウ	イノモトソウ				NT	NT	地上生
37			オオバノハチジョウシダ				CR+EN	CR+EN	山地の沢沿い
38		メシダ	ヒロハイヌワラビ				VU	CR+EN	山地及び平野部の森林下
39			コウライイヌワラビ			VU	CR+EN	CR+EN	日当たりが良く湿性の場
40			ヤブシダ				NT	NT	山地及び平野部の森林下
41			セイタカシケシダ				VU	VU	丘陵地～谷底部の林床
42			ヒカゲワラビ				VU	VU	平野部の森林の林床
43			オニヒカゲワラビ				VU	VU	森林のやや湿った場所
44		オシダ	ハカタシダ				CR+EN	CR+EN	丘陵～山地のやや乾いた林床や林縁
45			ミヤコヤブソテツ				CR+EN	CR+EN	平野部の丘陵地
46			サクライカグマ				CR+EN	CR+EN	丘陵～低山地、里山林床
47			オオイタチシダ				NT	NT	里山や山地の林縁や斜面
48			ギフベニシダ				CR+EN	CR+EN	里山の石垣、崖地、林縁
49			リョウトウイタチシダ					NT	低山～山地、尾根部
50			キヨスミヒメワラビ				VU	VU	日陰のやや湿った林床
51			イノデモドキ				VU	VU	平野部の林内

表 4.3-18(2)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
52	ウラボシ	ウラボシ	マメヅタ				NT	NT	沿岸、島嶼や山裾の岩上や樹上
53			イワオモダカ				VU	VU	河川沿、霧の多い地域の樹幹や岩上
54	スイレン	スイレン	ネムロコウホネ			VU	DD		湖沼や湿原の池塘
55	シキミ	マツブサ	チョウセンゴミシ				CR+EN	CR+EN	やや寒冷な山地に生える
56	コショウ	ドクダミ	ハンゲショウ				VU	VU	平地の湿地や沼沢地
57		ウマノスズクサ	ウマノスズクサ					NT	里山や河川敷
58			フタバアオイ				CR+EN	CR+EN	山地の林床
59			ミチノクサイシン			VU	NT	NT	広葉樹林の林床
60			コシノカンアオイ			NT	CR+EN		低地～山地の林下
61	クスノキ	クスノキ	ヤブニッケイ				CR+EN	CR+EN	平野地区と島嶼
62	オモダカ	オモダカ	サジオモダカ				NT	NT	水田や沼沢地
63			マルバオモダカ			VU	CR+EN	CR+EN	水湿地
64			アギナシ			NT	VU	VU	水田、池沼、沼沢地
65			ウリカワ					NT	水田や休耕田
66		トチカガミ	スブタ			VU	CR+EN	CR+EN	自然度の高い水田
67			ヤナギスブタ				VU	VU	水田、池沼、沼沢地
68			トチカガミ			NT	CR+EN	VU	丘陵地～山地の池沼
69			サガミトリゲモ			VU	VU	VU	池沼や水田
70			イトトリゲモ			NT	NT	NT	池沼や水田、用水路
71			ホッスモ				VU	VU	池沼や水田、用水路
72			オオトリゲモ				CR+EN	VU	溜池や水路
73			イトイバラモ			VU	CR+EN	CR+EN	溜池
74			ミズオオバコ			VU	NT	VU	水湿地や水田
75			コウガイモ				CR+EN	VU	池沼
76			セキショウモ				CR+EN	CR+EN	湖沼や溜池
77		ヒルムシロ	イトモ			NT	要注目種	NT	沼沢、湖沼、水路
78			コバノヒルムシロ			VU	VU	VU	池沼、沼沢地等
79			エゾノヒルムシロ				VU	VU	池沼、沼沢地等
80			センニンモ				VU	VU	湖沼、池沼、沼沢地等
81			ミズヒキモ				VU	VU	池沼、沼沢地等
82			ホソバミズヒキモ				VU	VU	湖沼、池沼、沼沢地等
83			ヒロハノエビモ				CR+EN	CR+EN	池沼
84			ツツイトモ			VU	CR+EN	CR+EN	池沼、河川、水路
85			ササバモ				CR+EN	CR+EN	湖沼、池、河川
86		カワツルモ	カワツルモ			NT	VU	VU	丘陵～低山、里山の林床
87	タコノキ	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			VU	CR+EN	CR+EN	丘陵地の森林の林床
88	ユリ	サルトリイバラ	マルバサンキライ				CR+EN	VU	山地の谷部
89		ユリ	ミヤマスカシユリ			EN		VU	石灰岩地帯の岸壁
90			アマナ				VU	VU	日のあたりの良い草原
91	クサスギカズラ	ラン	コアニチドリ			VU	CR+EN	CR+EN	山地の湿原や湿った岩上
92			エビネ			NT	VU	VU	里山や山地
93			キンセイラン			VU	CR+EN	CR+EN	林床
94			ユウシュンラン			VU	NT	NT	丘陵地～山地
95			キンラン			VU	VU	VU	丘陵地以下の明るい林内
96			クゲヌマラン			VU	CR+EN	CR+EN	明るい林床
97			トケンラン			VU	CR+EN	CR+EN	丘陵～低山の林床
98			コアツモリソウ			NT	CR+EN	VU	里山～山地
99			クマガイソウ			VU	CR+EN	CR+EN	山地
100			ハマカキラン			VU	NT	VU	沿岸域の防潮林林床
101			エゾスズラン				NT	VU	丘陵地～亜高山帯
102			カモメラン			NT	CR+EN	CR+EN	山地の木陰

表 4.3-18(3)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
103	クサスギカズラ	ラン	マツラン			VU	CR+EN	CR+EN	マツ等の樹上
104			シロテンマ			CR	VU	CR+EN	山地
105			ヒロハツリシュスラン			EN	CR+EN	CR+EN	山地のブナ等
106			ヒメミヤマウズラ				CR+EN	CR+EN	山地の針葉樹林下
107			ミズトンボ			VU	CR+EN	CR+EN	日の当たりの良い湿地
108			オオミズトンボ			EN	CR+EN	CR+EN	日の当たりの良い湿地
109			ムカゴソウ			EN	VU	VU	やや湿った草原
110			ヒメノヤガラ			VU	VU	VU	広葉樹林の林床
111			ハクウンラン				VU	VU	山地帯の林床
112			ギボウシラン			EN	CR+EN	CR+EN	山地林床のやや湿った所
113			フガクスズムシソウ			VU	CR+EN	CR+EN	山地等のブナ等の樹幹
114			セイタカスズムシソウ				CR+EN	CR+EN	山地の林床
115			ジガバチソウ				NT	NT	亜寒～暖温帯の山地林床
116			スズムシソウ				CR+EN	CR+EN	山地の林床
117			ノビネチドリ				VU	VU	山地帯の湿地
118			ヒメフタバラン				要注目種	要注目種	平野、山地等の丘陵地
119			アオフタバラン				VU	VU	山地の林床
120			ミヤマモジズリ				CR+EN	CR+EN	山地帯の針葉樹林下
121			サギソウ			NT	CR+EN	CR+EN	湿地
122			ミズチドリ				VU	VU	平地～里山の池沼
123			イイヌマムカゴ			EN	CR+EN	CR+EN	低山のやや湿った林床
124			ツレサギソウ				NT	VU	日当たりの良い湿原
125			マイサギソウ				CR+EN	CR+EN	山地
126			ヤマサギソウ				VU	VU	日当たりの良い草地
127			トキソウ			NT	VU	VU	日当たりの良い酸性湿地
128			ヤマトキソウ				CR+EN	CR+EN	日当たりの良い草原や湿地
129			ウチョウラン			VU	CR+EN	CR+EN	丘陵地～山地の岩場のやや湿った場所
130			ヒナチドリ			VU	CR+EN	CR+EN	山地のコケの生えた樹上
131			カヤラン				VU	VU	植林地の樹幹や岩上
132			ヒトツボクロ					NT	丘陵～山地の明るい林床
133			ショウキラン				CR+EN	CR+EN	山地帯の林内
134		アヤメ	ヒオウギ				CR+EN	CR+EN	山地
135			ヒメシャガ			NT	NT	NT	丘陵地
136			カキツバタ			NT	VU	VU	水湿地
137			アヤメ				NT	NT	水辺や湿地、林縁
138		ヒガンバナ	ギョウジャニンニク				CR+EN	CR+EN	沿岸域～丘陵地
139		クサスギカズラ	スズラン				VU	VU	森林
140			ヒメイズイ				NT	NT	草地
141	ツユクサ	ツユクサ	ヤブミョウガ				CR+EN	CR+EN	林内のやや湿った場所
142	ツユクサ	ミズアオイ	ミズアオイ			NT		NT	湖沼河川、水路、水田
143	イネ	ガマ	ミクリ			NT	NT	NT	河川、沼沢、用水路
144			ヤマトミクリ			NT	CR+EN	CR+EN	里山地域の池沼や側溝
145			ナガエミクリ			NT	NT	NT	河川、沼沢、用水路
146			ヒメミクリ			VU	VU	VU	湖沼、溜池、湿原
147		ホシクサ	ホシクサ				要注目種	NT	ダム周辺の湿地
148		カヤツリグサ	イセウキヤガラ				VU	VU	河口に近い河岸
149			ヤマクボスゲ			NT	VU	VU	里山、水湿地
150			スナジスゲ				NT	NT	湖沼や池沼
151			ハコネイトスゲ				CR+EN	CR+EN	山地の林床や林縁
152			ムジナスゲ				VU	VU	湿原や沼畔
153			タチスゲ				CR+EN	CR+EN	里山、水湿地

表 4.3-18(4)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
154	イネ	カヤツリグサ	ノゲヌカスゲ				要注目種	要注目種	丘陵～低山の草地、林縁
155			ユキグニハリスゲ				CR+EN	CR+EN	山地帯の湿地
156			マメスゲ				CR+EN	CR+EN	里山、沿岸部
157			オオクグ			NT	NT	NT	海岸湿地
158			カンエンガヤツリ			VU	VU	VU	湖沼、池沼縁
159			タチヒメクグ					VU	水田、休耕田、湿地
160			ニイガタガヤツリ			CR	要注目種	NT	溜池畔
161			チシママツバイ			VU	CR+EN	CR+EN	休耕田
162			スジヌマハリイ			VU	VU	VU	水湿地
163			コツブヌマハリイ			VU	VU	VU	沼沢地
164			チャボイ			VU	CR+EN	CR+EN	休耕田
165			サギスゲ				NT	NT	低地～亜高山帯の湿原
166			ナガボテンツキ				VU	VU	塩性湿地
167			トネテンツキ			VU	CR+EN	CR+EN	湿地
168			ノグサ				VU	VU	湿地
169			コシンジュガヤ					VU	湿地
170		イネ	ヒメコヌカグサ			NT		NT	日陰の溜池、湿地
171			ヒナザサ			NT	VU	VU	湿地
172			ウキガヤ				NT	NT	沼沢地
173			カリヤス				要注目種	要注目種	山地の草原や林縁
174			アイアシ				NT	NT	海岸湿地
175			タチイチゴツナギ			EN		VU	深山
176			ハマヒエガエリ					VU	海浜湿地
177			タチドジョウツナギ					要注目種	用水路、水田、湿地
178			アキウネマガリ				CR+EN	CR+EN	山地
179			ヤマキタダケ					NT	山地、丘陵地
180			ヒメスズダケ				NT	NT	山地、丘陵地
181			ウシクサ				CR+EN	CR+EN	湿地
182	キンポウゲ	ケシ	ナガミノツルケマン					NT	山地森林
183			ヤマブキソウ					NT	明るい林内
184			オサバグサ				CR+EN	CR+EN	深山の針葉樹林の下
185		ツヅラフジ	ツヅラフジ				DD	DD	丘陵地の林内
186		キンポウゲ	センウズモドキ			VU	要注目種	NT	丘陵地～山地帯
187			フクジュソウ				VU	VU	里山
188			レンゲショウマ					NT	やや湿った林床
189			カザグルマ			NT	VU	VU	里山
190			アズマシロカネソウ				CR+EN	CR+EN	湿性な林床
191			トウゴクサバノオ					NT	湿った林床
192			シラネアオイ					NT	深山
193			スハマソウ				NT	NT	山地の林床
194			オキナグサ			VU	CR+EN	CR+EN	日当たりの良い草原
195			コキツネノボタン			VU	VU	VU	日当たりの良い湿地
196			ヒキノカサ			VU	CR+EN	CR+EN	日当たりの良い湿地
197			ヒメバイカモ			EN	CR+EN	CR+EN	水田、溜池
198			バイカモ					NT	水路、湧水地
199			マンセンカラマツ			EN	VU	VU	日当たりの良い草原
200			イワカラマツ			VU		NT	日当たりの良い岸壁や礫地
201	ユキノシタ	ボタン	ヤマシャクヤク			NT	CR+EN	VU	山地
202			ベニバナヤマシャクヤク			VU	VU	VU	山地のやや湿った林床
203		ベンケイソウ	ベンケイソウ				VU	CR+EN	やや乾いた草原、林床
204			ツメレンゲ			NT	DD	DD	丘陵地の岩上
205			アズマツメクサ			NT	VU	VU	平地の湿地

表 4.3-18(5)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
206	ユキノシタ	タコノアシ	タコノアシ			NT		NT	河川敷、休耕田、湿地
207		アリノトウグサ	オグラノフサモ			VU	VU	VU	湖沼、沼沢地
208			タチモ			NT	VU	VU	湖沼、沼沢地
209	マメ	マメ	モメンヅル				VU	VU	日当たりの良い草原
210			ジャケツイバラ				CR+EN	CR+EN	丘陵地
211			タヌキマメ				CR+EN	CR+EN	湿った草地、湿地周縁
212			ケヤブハギ				要注目種	NT	林内、林縁
213			エゾノレンリソウ					NT	湿った草地、湿地
214			レンリソウ					VU	丘陵地や低山の草地
215			イヌハギ			VU	NT	NT	河原や日が当たる砂地
216			マキエハギ				NT	NT	草原
217			オオバタンキリマメ				NT	NT	日が当たる草地、林縁
218			センダイハギ				CR+EN	CR+EN	海岸砂丘
219	バラ	イラクサ	マルバヤブマオ				VU	VU	林縁や路傍の草原
220			トキホコリ			VU	VU	VU	低地の湿った場所
221			コケミズ				NT	NT	山地の陰湿地
222		バラ	チョウセンキンミズヒキ			VU	NT	NT	山地の草地、林縁
223			エチゴキジムシロ				要注目種	要注目種	日当たりの良い山野
224			シャリンバイ					要注目種	道路の緑地帯、公園
225			ハマナス				NT	NT	海岸砂丘
226			サナギイチゴ			VU	要注目種	NT	深山
227	ブナ	ブナ	アラカシ				要注目種	要注目種	低山～谷部の河川敷
228	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル				DD	NT	山地、丘陵地
229			クロヅル			DD			山地の林縁や林内
230	キントラノオ	トウダイグサ	ノウルシ			NT	要注目種	NT	河川敷、休耕田、水路
231			マルミノウルシ			NT	VU	VU	草原
232			センダイタイゲキ			NT	CR+EN	CR+EN	林床、林縁、湿性な場所
233		ヤナギ	シライヤナギ				CR+EN	VU	山地
234		スミレ	エゾノタチツボスミレ				NT	NT	山地～丘陵帯
235		オトギリソウ	オシマオトギリ				VU	VU	山地
236	フトモモ	ミソハギ	ヒメミソハギ				CR+EN	CR+EN	水田、休耕田等の湿地
237			ミズマツバ			VU	VU	VU	水田、休耕田等の湿地
238			ヒメビシ			VU	CR+EN	CR+EN	湖沼
239		アカバナ	カラフトアカバナ				NT	NT	山地等の湿った場所
240	アオイ	アオイ	カラスノゴマ					NT	日当たりの良い場所
241	アブラナ	アブラナ	ハマハタザオ					NT	海岸の砂地や岩石地
242			ミズタガラシ				VU	VU	湿地や沼沢地
243			エゾハタザオ				要注目種	NT	山地帯の深山の谷間
244			コイヌガラシ			NT	CR+EN	CR+EN	水田
245			ハタザオ					VU	明るい草地
246	ナデシコ	イソマツ	ハマサジ			NT	CR+EN	CR+EN	海岸塩性湿地
247		タデ	アブクマトラノオ				VU	NT	丘陵地の谷筋
248			ヒメタデ			VU	VU	VU	水湿地
249			ヤナギヌカボ			VU	要注目種	NT	水湿地
250			ナガバノウナギツカミ			NT	VU	VU	湿地
251			サデクサ				NT	NT	水湿地
252			ヌカボタデ			VU	要注目種	NT	湖沼
253			ホソバイヌタデ			NT	NT	NT	河川敷の低湿地
254			ノダイオウ			VU	要注目種	NT	路傍、草原等
255			マダイオウ				CR+EN	CR+EN	水湿地
256		ナデシコ	タチハコベ			VU	要注目種	NT	樹林の林床や岩石
257			ワダソウ				VU	VU	丘陵地、林内や林縁
258			ナンブワチガイソウ			VU	NT	NT	里山の林床

表 4.3-18(6)　文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
259	ナデシコ	ヒユ	ハマアカザ					NT	海浜の塩湿地、河口の砂地
260			アカザ			VU			荒地
261			ハママツナ				NT	NT	塩性湿地
262	ミズキ	アジサイ	クサアジサイ				CR+EN	VU	湿った林床や岩上
263	ツツジ	サクラソウ	ヤナギトラノオ				VU	VU	平地～山地帯
264			クリンソウ				VU	VU	山間部の湿地
265			サクラソウ			NT	CR+EN	CR+EN	沢筋や湿地
266		ツバキ	ナツツバキ				VU	VU	山地
267	リンドウ	アカネ	オオキヌタソウ				NT	NT	山地の林中
268		リンドウ	ホソバノツルリンドウ				VU	CR+EN	山地
269			イヌセンブリ			VU	VU	NT	山野の湿地
270		マチン	アイナエ				CR+EN	CR+EN	日当たりの良い低湿地
271		キョウチクトウ	フナバラソウ			VU	VU	VU	草原
272			コカモメヅル					VU	林縁、草地
273			スズサイコ			NT	VU	VU	日当たりの良い草地
274	ナス	ナス	ヤマホロシ				VU	VU	丘陵地の林縁
275	ムラサキ	ムラサキ	ムラサキ			EN	CR+EN	CR+EN	やや乾燥した草原
276			ルリソウ				NT	NT	丘陵帯の樹林下
277			ツルカメバソウ			EN	CR+EN	CR+EN	山地
278	シソ	イワタバコ	イワタバコ				CR+EN	CR+EN	山地の湿った岩壁
279		オオバコ	マルバノサワトウガラシ			VU	VU	VU	池沼や休耕田、湿地
280			アブノメ				VU	CR+EN	湖沼や池沼、湿地
281			オオアブノメ			VU	要注目種	NT	水田や氾濫原、湿地
282			ヒシモドキ			EN	EX	EX	池沼
283			クワガタソウ				VU	NT	平地～丘陵地の林内
284			カワヂシャ			NT	NT	NT	河川、河口
285		ゴマノハグサ	ゴマノハグサ			VU	VU	CR+EN	やや湿った草原
286			ヒナノウスツボ				DD	DD	海岸
287		シソ	キセワタ			VU	VU	CR+EN	山地の草原
288			ヒメハッカ			NT	CR+EN	CR+EN	湿地
289			シラゲヒメジソ				要注目種	NT	丘陵地の半日陰の林縁
290			ヤマジソ			NT	VU	VU	山地や丘陵
291			ナミキソウ				NT	NT	やや湿った林縁、湿地
292			エゾニガクサ			EN	CR+EN	CR+EN	湿った林縁や林床
293			カリガネソウ				CR+EN	CR+EN	山地や原野の林縁
294		ハマウツボ	タチコゴメグサ				VU	VU	山地帯上部から亜高山帯の草原
295			ケヤマウツボ				要注目種	要注目種	山地のやや湿った林内
296			ハマウツボ			VU	NT	CR+EN	海岸や河原の砂地
297			キヨスミウツボ				VU	VU	山地帯の林床
298		タヌキモ	イヌタヌキモ			NT	VU	NT	池沼、溜池や沼沢地
299			ミミカキグサ				CR+EN	CR+EN	丘陵帯～山地帯の湿地
300			タヌキモ			NT	CR+EN	CR+EN	池沼や農業用水池
301			ヒメタヌキモ			NT	CR+EN	CR+EN	丘陵地の池沼
302			オオタヌキモ			NT	NT	VU	池沼
303			ムラサキミミカキグサ			NT	NT	NT	山地の湿原
304		キツネノマゴ	ハグロソウ				CR+EN	VU	平地や丘陵地
305		クマツヅラ	クマツヅラ				VU	VU	道端や荒地
306	モチノキ	モチノキ	ソヨゴ				NT	NT	山地
307	キク	キキョウ	バアソブ			VU	CR+EN	CR+EN	山麓や平地の林縁
308			キキョウ			VU	VU	NT	草原
309		ミツガシワ	ヒメシロアサザ			VU	VU	VU	平地の湖沼

表 4.3-18(7) 文献その他の資料等で確認された重要な種

No.	目名	科名	種名※1	選定基準※2					生育環境
				①	②	③	④	⑤	
310	キク	ミツガシワ	ガガブタ			NT	CR+EN	CR+EN	湖沼、溜池
311			アサザ			NT	VU	VU	平地の湖沼
312		キク	シオン			VU			山地の湿った草地
313			シュウブンソウ					NT	山地の木陰
314			エゾノタウコギ				VU	VU	湿地、池沼や用水路
315			ヒメガンクビソウ				VU	VU	山地の林床の乾性地
316			アワコガネギク			NT		NT	山地の谷間のやや乾いた崖や山麓の土手
317			ナトリアザミ				CR+EN	CR+EN	丘陵地
318			アズマギク				VU	VU	日当たりの良い草原
319			フジバカマ			NT		NT	山地
320			タカサゴソウ			VU	VU	VU	丘陵～山地の乾いた草原
321			ノニガナ				NT	NT	草原、畑地、河原
322			カワラニガナ			NT	VU	VU	河原の礫地
323			コオニタビラコ					VU	水田や畦
324			ミチノクヤマタバコ				VU	VU	草原や明るい林床
325			オオニガナ				NT	NT	山中の湿地
326			ムラサキニガナ				NT	NT	半日陰の林床や林縁
327			カシワバハグマ				VU	VU	丘陵地
328			アキノハハコグサ			EN	VU	CR+EN	丘陵地のやや乾いた林床
329			アオヤギバナ				VU	CR+EN	川岸などの岩上
330			オカオグルマ				VU	CR+EN	日当たりの良い草地
331			オナモミ			VU	VU	VU	草原、畑地
332	セリ	セリ	エキサイゼリ			NT	CR+EN	CR+EN	平野の湿地
333			ミシマサイコ			VU	CR+EN	CR+EN	丘陵地の草地
334			ホタルサイコ				NT	NT	山地の日当たりの良い草地や樹林下
335			タニミツバ				VU	VU	谷間や木陰の水辺
336			ヌマゼリ			VU	NT	VU	湿地
337	マツムシソウ	ガマズミ	レンプクソウ				NT	NT	深山の林床、陰湿の場所
338		スイカズラ	マツムシソウ					VU	日当たりの良い草地
合計	52 目	100 科	338 種	0 種	0 種	148 種	299 種	331 種	－

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 4.3-17 に示した略称を表記している。

(2) 重要な群落

重要な群落は、文献その他の資料及び専門家等へのヒアリングにより確認された種について、表 4.3-19 の選定基準に基づき、学術上又は希少性の観点から選定した。事業実施想定区域及びその周囲における重要な群落は、表 4.3-20 に示す植生自然度 10 及び 9 に該当する植生と、天然記念物を抽出した。

事業実施想定区域内では、シキミ-モミ群集(植生自然度 9)が該当する。また、事業実施想定区域及びその周囲には天然記念物の「シダレザクラ」と「滝前不動のフジ」が分布している。

なお、事業実施想定区域の東側エリアの西側にはヨシクラス(植生自然度 10)が隣接している。重要な群落を図 4.3-10 に示した。

表4.3-19　重要な群落の選定基準

<table>
<tr><th>分類</th><th>略称</th><th>名称</th><th>カテゴリ</th></tr>
<tr><td>法規制等</td><td>①</td><td>『文化財保護法』
(昭和 25 年 法律第 214 号)
『宮城県文化財保護条例』
(昭和 50 年 宮城県条例第 49 号)
『村田町文化財保護条例』
(平成元年 村田町条例第 14 号)
『仙台市文化財保護条例』
(昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)</td><td>・特天：特別天然記念物
・国天：天然記念物
・県天：県指定天然記念物
・町天：町指定天然記念物
・市天：市指定天然記念物</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RDB等</td><td>②</td><td>『植物群落レッドデータブック』
(平成 8 年 (財)日本自然保護協会他)</td><td>・4:緊急に対策必要
・3:対策必要
・2:破壊の危惧
・1:要注意</td></tr>
<tr><td>③</td><td>『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2022 年版-』(令和 4 年 宮城県)</td><td>・D:壊滅
・4:壊滅状態
・3:壊滅危惧(要対策)
・2:壊滅危惧
・1:要注意</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>④</td><td>『第 2 回 自然環境保全基礎調査』(昭和 56 年 環境庁)
『第 3 回 自然環境保全基礎調査』(平成元年 環境庁)
『第 5 回 自然環境保全基礎調査』(平成 12 年 環境庁)</td><td>・特群:特定植物群落</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>『自然環境保全基礎調査(植生調査)』
(環境省生物多様性センター)</td><td>・植生自然度 10:自然草原
・植生自然度 9:自然林</td></tr>
</table>

表4.3-20(1)　重要な群落

<table>
<tr><th>選定基準</th><th rowspan="2">植生区分</th><th rowspan="2">群落</th></tr>
<tr><th>自然度</th></tr>
<tr><td>植生自然度 10</td><td>河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等</td><td>ヨシクラス、ツルヨシ群集、ヒルムシロクラス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">植生自然度 9</td><td>ブナクラス域自然植生</td><td>イヌシデ-アカシデ群落、アオハダ-モミ群落、ケヤキ群落 (IV)、ヤナギ高木群落 (IV)、ヤナギ低木群落 (IV)</td></tr>
<tr><td>ヤブツバキクラス域自然植生</td><td>シキミ-モミ群集</td></tr>
</table>

出典：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

表4.3-20(2)　重要な群落 (天然記念物)

選定基準※	指定自治体	所在地	名称	樹種
町天	村田町	村田町	シダレザクラ	シダレザクラ
国天	国	川崎町	滝前不動のフジ	フジ

※.選定基準は、表 4.3-17 に示した略称を表記している。

出典：「文化遺産オンライン」(文化庁HP、閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

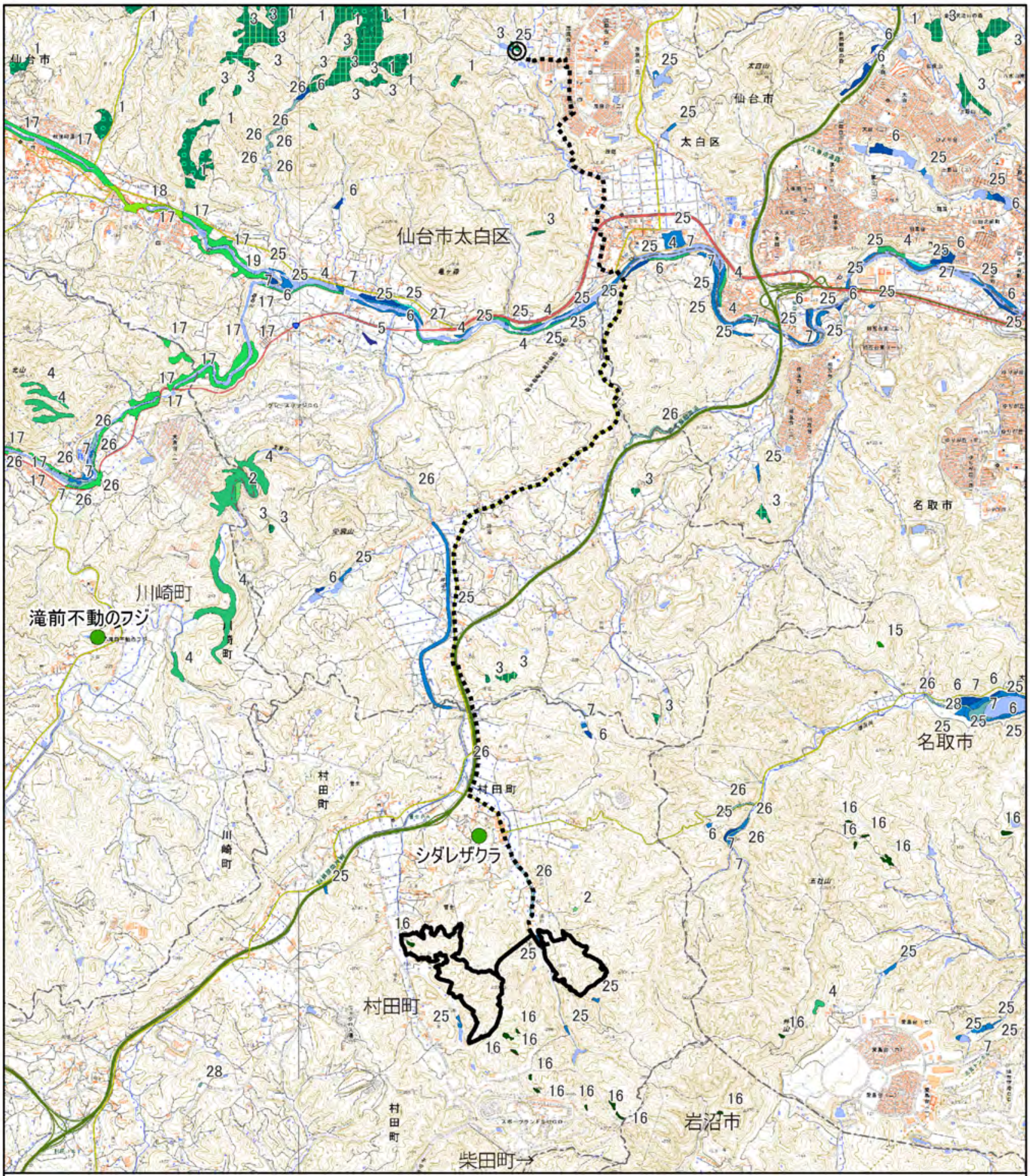

図 4.3-10(1)　事業実施想定区域の周囲における重要な群落

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- ◎ 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- ● 天然記念物

植生自然度9,10の群落

- 1.モミ-イヌブナ群集
- 2.イヌシデ-アカシデ群落
- 3.アオハダ-モミ群落
- 4.ケヤキ群落(IV)
- 5.ハンノキ群落(IV)
- 6.ヤナギ高木群落(IV)
- 7.ヤナギ低木群落(IV)
- 15.ウラジロガシ群落
- 16.シキミ-モミ群集
- 17.ケヤキ群落(VI)
- 18.イヌシデ-アカシデ群落(VI)
- 19.ヤナギ高木群落(VI)
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集
- 27.オギ群集
- 28.ヒルムシロクラス

N　1:60,000　0　1　2 km

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(自然環境情報 GIS 提供システム)(環境省生物多様性センターHP)、「文化遺産オンライン」(文化庁 HP)、(閲覧:令和4年4月)より作成

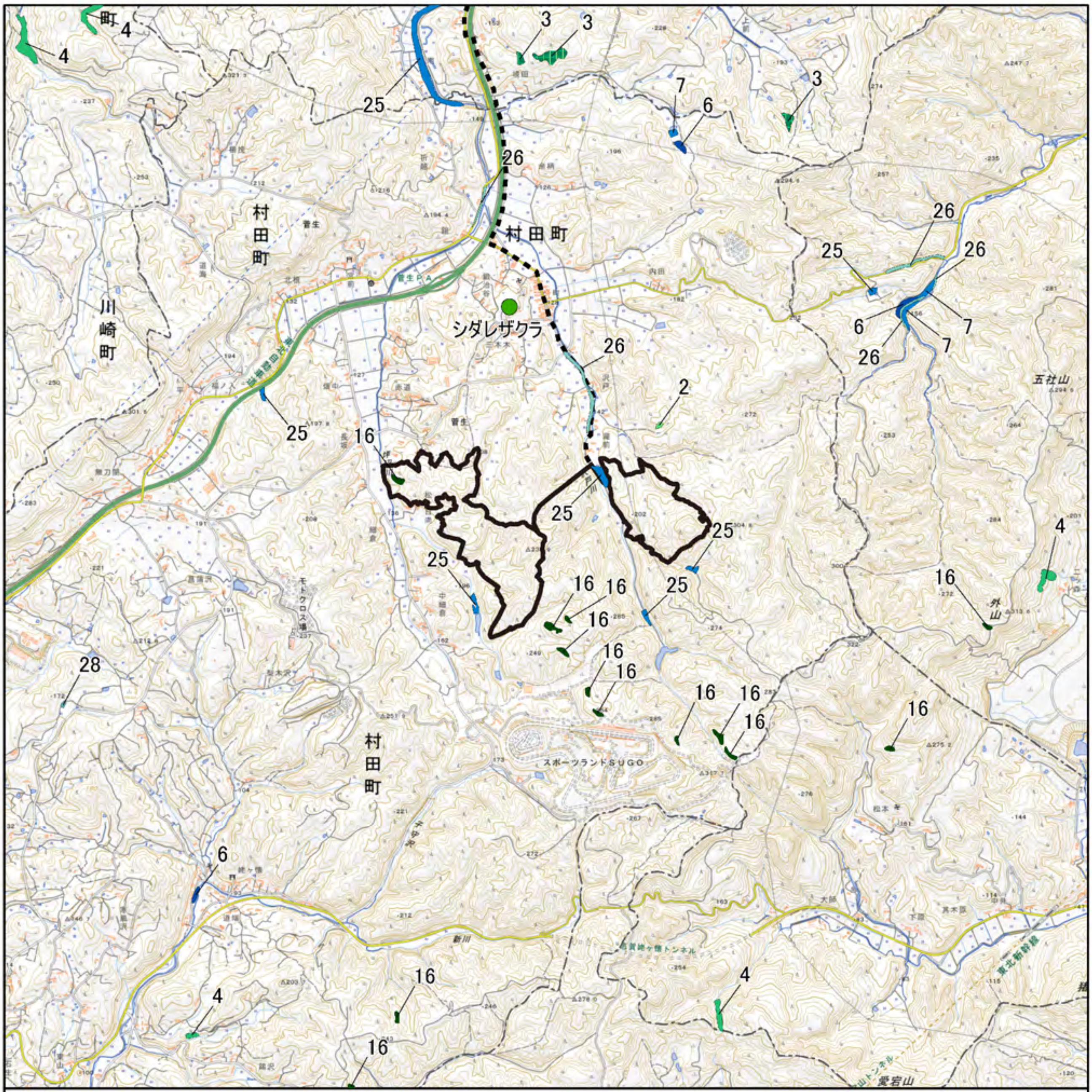

図 4.3-10(2)　事業実施想定区域の周囲における重要な群落（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- 天然記念物

植生自然度9,10の群落

- 2.イヌシデーアカシデ群落
- 3.アオハダーモミ群落
- 4.ケヤキ群落(Ⅳ)
- 6.ヤナギ高木群落(Ⅳ)
- 7.ヤナギ低木群落(Ⅳ)
- 16.シキミーモミ群集
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集
- 28.ヒルムシロクラス

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

出典：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(自然環境情報 GIS 提供システム)、(環境省生物多様性センターHP)、「文化遺産オンライン」（文化庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

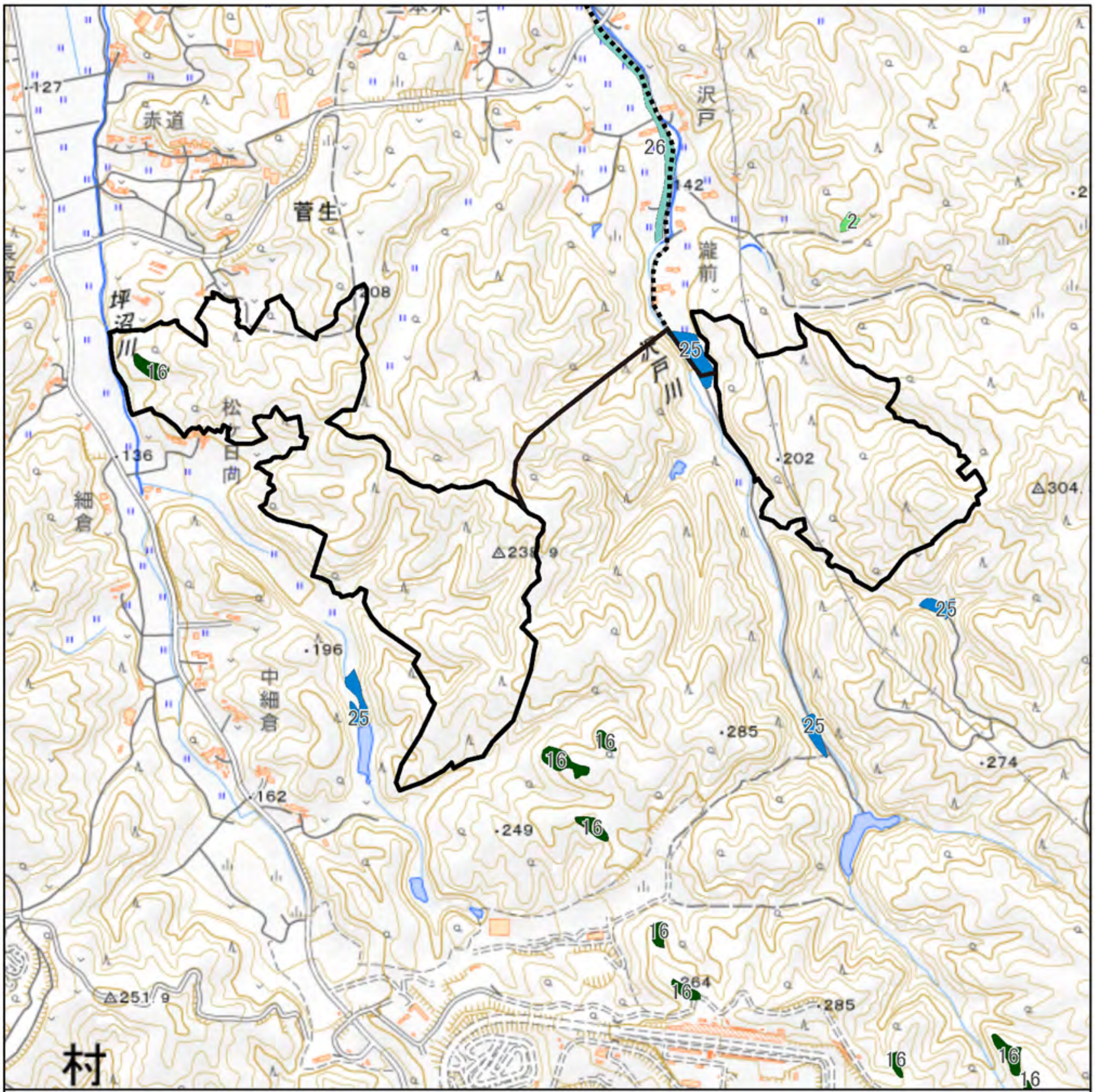

図 4.3-10(3)　事業実施想定区域の周囲における重要な群落（拡大図）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）

植生自然度9,10の群落

- 2.イヌシデーアカシデ群落
- 16.シキミーモミ群集
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集

N

1:15,000

0　0.25　0.5 km

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(自然環境情報 GIS 提供システム)、(環境省生物多様性センターHP)
(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

(3) 巨樹・巨木林

巨樹・巨木林について、表 4.3-21 に示す文献及びその他の資料から抽出した。事業実施想定区域及びその周囲における巨樹・巨木林について表 4.3-22 及び図 4.3-11 に示す。

表4.3-21　文献その他の資料一覧（巨樹・巨木林）

文献番号	資料名	調査項目	発行
1	『第 4 回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査（自然環境情報 GIS 提供システム）』（平成 3 年）	巨樹・巨木林	環境省
2	『第 6 回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査（自然環境情報 GIS 提供システム）』（平成 13 年）	巨樹・巨木林	環境省

表4.3-22　事業実施想定区域及びその周囲の巨樹・巨木林

文献番号	樹種	名称	所在地	幹周(cm)	樹高(m)
1	フジ	滝前不動のフジ	川崎町	280	28
2	アスナロ	南条家	岩沼市	340	15

出典：「第 4 回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査（自然環境情報 GIS 提供システム）」
（環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和 4 年 4 月）より作成

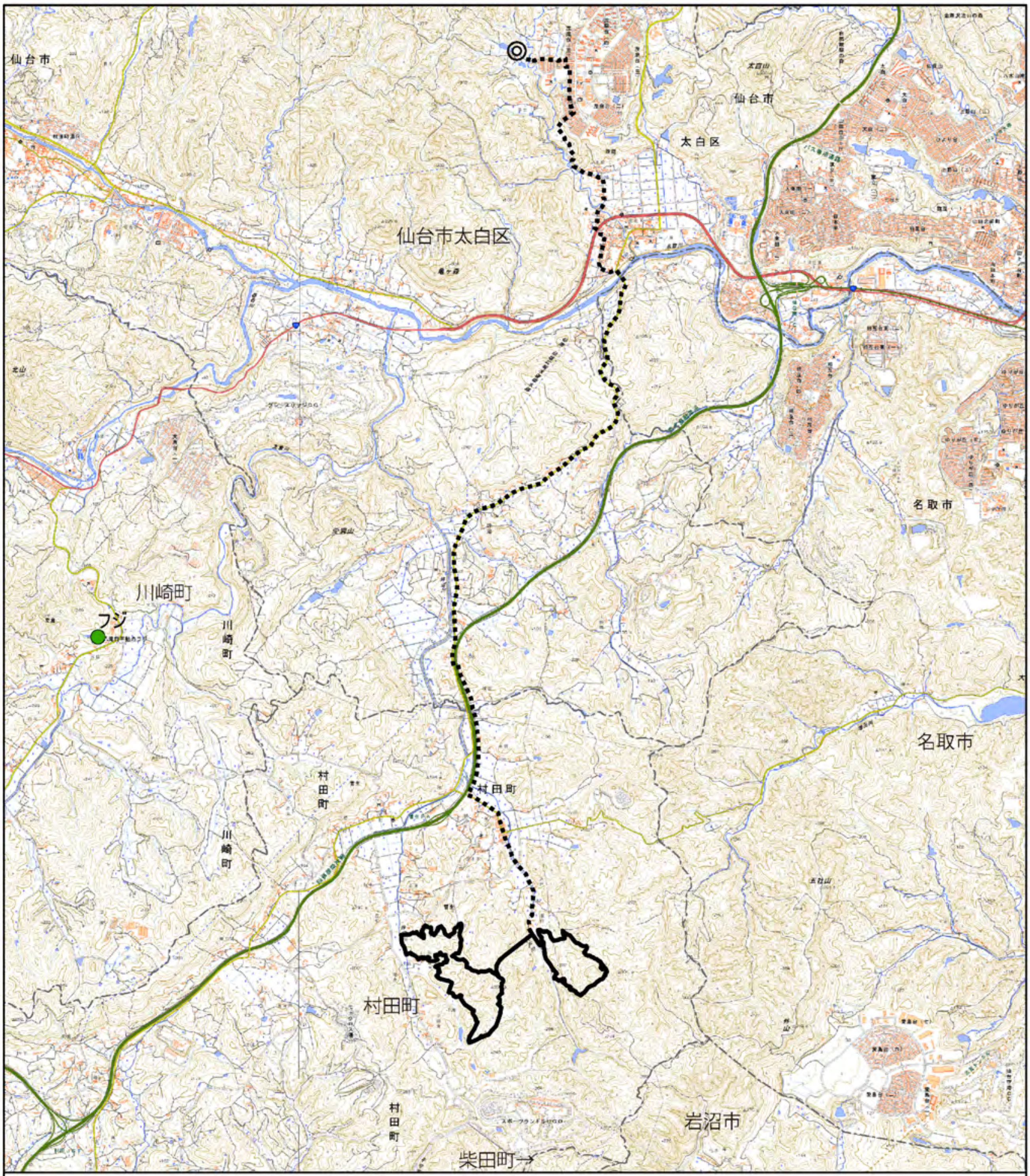

図 4.3-11(1)　事業実施想定区域の周囲における巨樹・巨木林

凡例
- 事業実施想定区域(村田町内)
- ◎ 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- ● 巨樹・巨木

N
1:60,000
0 1 2 km

出典:「第4回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査」(自然環境情報 GIS 提供システム)(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和4年4月)より作成

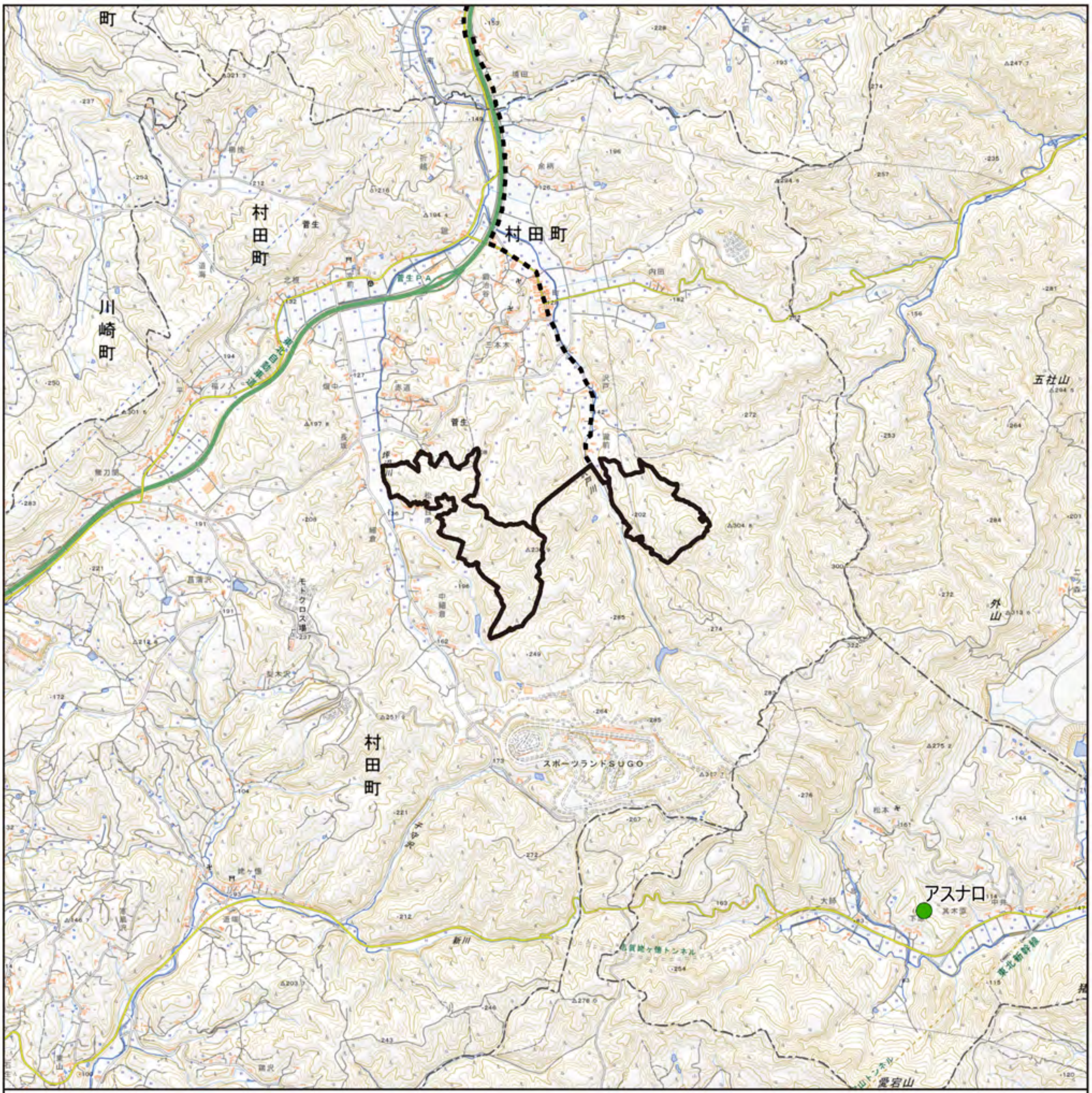

図 4.3-11(2)　事業実施想定区域の周囲における巨樹・巨木林（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 巨樹･巨木
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

出典:「第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」(自然環境情報 GIS 提供システム)(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

(4) 注目すべき生育地

注目すべき生育地について、事業実施想定区域及びその周囲を対象に表 4.3-23 に示す法令や規制等の選定基準に基づき抽出した。注目すべき生育地の位置を図 4.3-12 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲には県立自然公園二口峡谷、樽水・五社山県自然環境保全地域、太白山県自然環境保全地域、高館・千貫山緑地環境保全地域、蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域が存在する。また、植物生育地として重要な地域は、高館・千貫山及び坪沼地域の里地・里山植生等が存在する。

表4.3-23　注目すべき生育地

名称及び種名等	カテゴリ	選定基準
県立自然公園二口渓谷	県立自然公園	『県立自然公園条例』 (昭和 34 年 宮城県条例第 20 号)
樽水・五社山県自然環境保全地域	自然環境保全地域	『宮城県自然環境保全条例』 (昭和 47 年 宮城県条例第 25 号)
太白山県自然環境保全地域		
高館・千貫山緑地環境保全地域	緑地環境保全地域	
蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域		
太白山のスギ林	植物生育地として重要な地域	『平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』 (仙台市HP、閲覧：令和４年４月)
鈎取山学術参考保護林周辺の林		
下の沢等の沢辺植物群落		
太白山のコナラ・ケヤキ林		
北赤石中の森と周辺の植生		
坪沼のオオバアサガラ林		
太白・羽黒台の緑地		
坪沼地域の里地・里山植生		
奥羽山脈～青葉山丘陵地域の植生		
高館・千貫山		
秋保地区の里山		

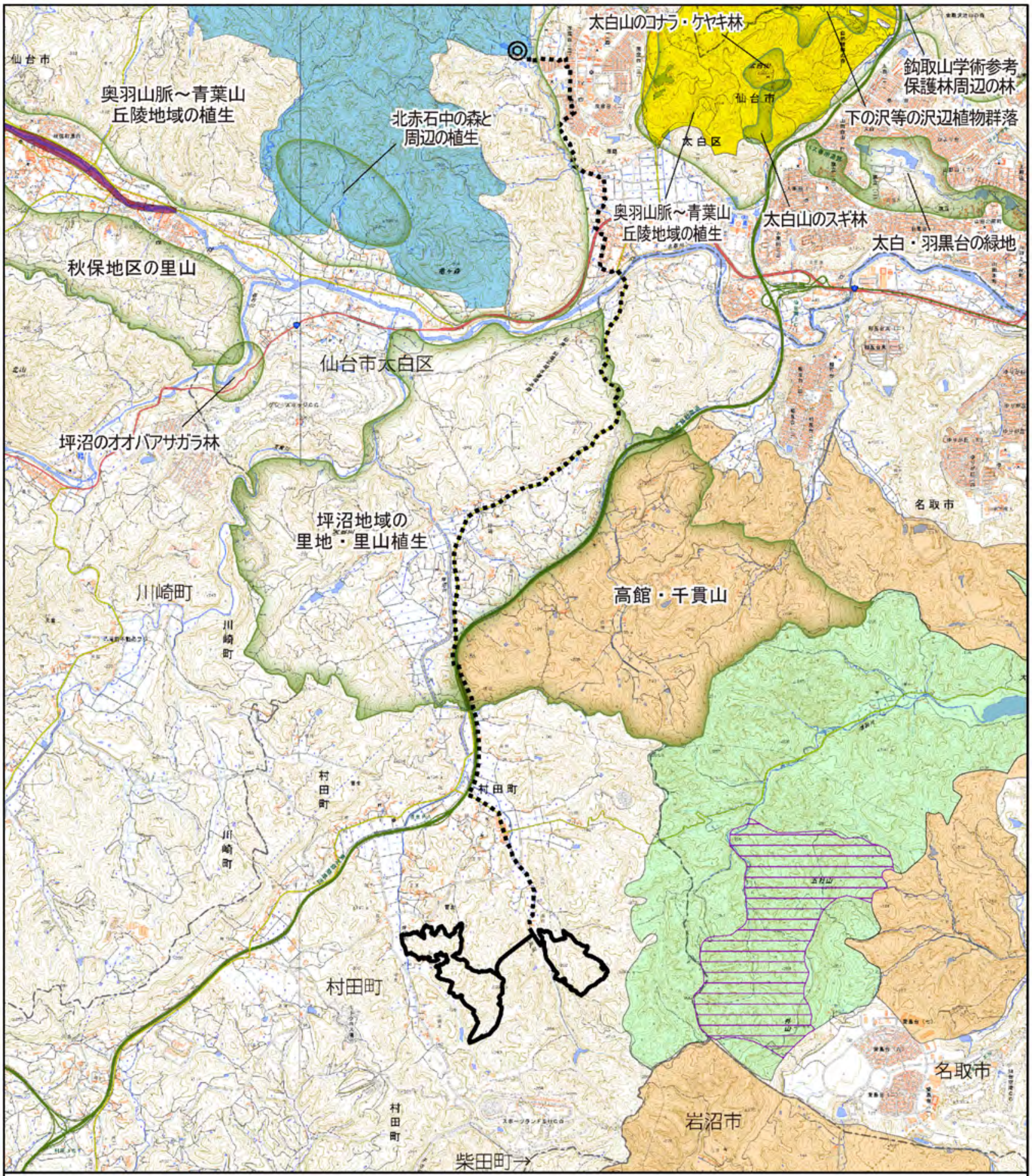

図 4.3-12(1)　注目すべき生育地

凡例
- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- 県立自然公園二口峡谷
- 樽水・五社山県自然環境保全地域(普通地区)
- 樽水・五社山県自然環境保全地域(特別地区)
- 太白山県自然環境保全地域(普通地区)
- 植物生育地として重要な地域(仙台市)
- 高館・千貫山緑地環境保全地域
- 蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域

N　1:60,000　0　1　2 km

出典：「自然公園等区域閲覧サービス」、「令和 3 年度鳥獣保護区等位置図」(宮城県 HP)、「平成 28 年度　仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」(仙台市 HP)、(閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

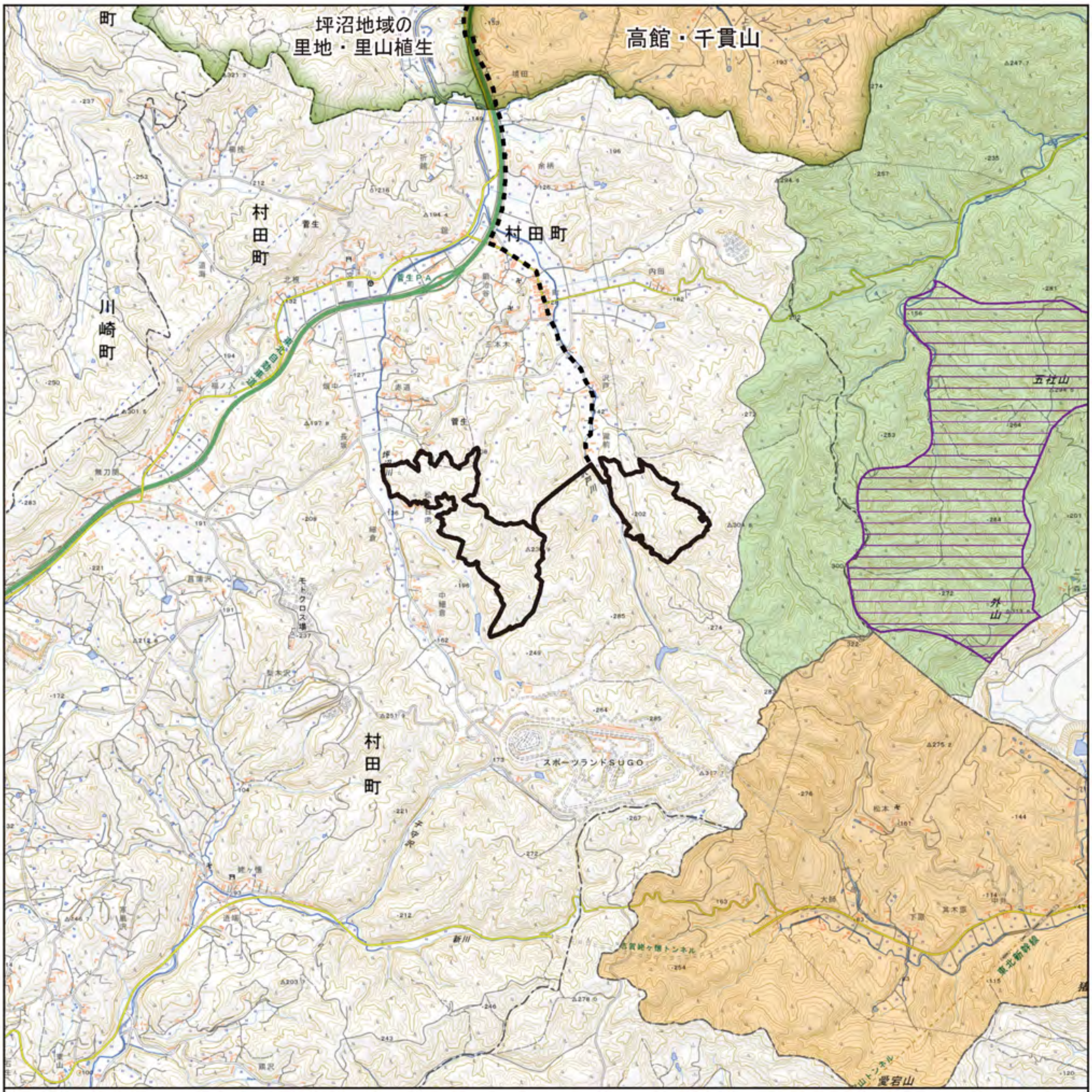

図 4.3-12(2)　注目すべき生育地（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域（村田町内）
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- 樽水・五社山自然環境保全地域（普通地区）
- 樽水・五社山自然環境保全地域（特別地区）
- 高館・千貫山緑地環境保全地域
- 植物生育地として重要な地域(仙台市)

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

出典：「自然公園等区域閲覧サービス」、「令和３年度鳥獣保護区等位置図」（宮城県 HP）、「平成 28 年度　仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」（仙台市 HP）、（閲覧：令和４年４月）より作成

(5) 専門家等へのヒアリング

文献その他の資料の収集のみでは得られない地域の情報について、専門家等へのヒアリングを実施した。

ヒアリングの結果、事業実施想定区域及びその周囲に生育する重要な種及び重要な群落について表 4.3-24 に示す情報が得られた。

なお、本計画段階で太陽電池発電事業の影響を受けると想定される村田町内の事業実施想定区域及びその周囲をヒアリングの対象範囲とした。

表4.3-24　専門家等へのヒアリング結果概要（植物）

ヒアリング実施日：令和3年11月30日

専門分野	概要
植物・植生	所属：自然保護団体 ・イワオモダカ（宮城県RL 2021：VU）は名取市樽水ダムにて確認記録がある。 ・ヤマクボスゲ（宮城県RL 2021：VU）は菅生内田にて確認記録がある。2～3年前に菅生坪沼地区の道路脇にある湿地でも確認された。 ・シラゲヒメジソ（宮城県RL 2021：NT）は菅生沢戸にて確認記録がある。 ・コオニタビラコ（宮城県RL 2021：VU）は菅生沢戸にて確認記録がある。今年から宮城県RLに選定された。 ・上記の種は、宮城県植物誌（2017 宮城県植物誌編集委員会）に記載されている種のうち、菅生地区で確認記録のある種である。 ・既存文献として、最近（2018年3月）発行された「岩沼市史 9 特別編Ⅰ 自然」も参考になる（宮城植物の会も植物目録等の執筆に携わった）。 ・重要な群落が見つかった場合は、保全の検討を進めてもらいたい。 ・別事業の環境アセスメントでは、環境調査中にムラサキセンブリ（宮城県RL 2021：CR+EN）が確認されたものの、手続き当時は宮城県RL等に指定されておらず、本種の保全対策が実施されないまま進められたことがある。 ・他にも沿岸域の工事では、環境調査結果・保全措置の検討内容等が施工業者へ十分周知されないまま工事が進められ、ヒメキンポウゲ（宮城県RL 2021：CR+EN）の生育域が消失してしまった事例もある。 ・上記2点の事例から、宮城県RLの改訂状況（概ね5年ごとに改訂）を逐一確認し、工事前に改めて貴重な種の生育確認を行う等の対応をお願いしたい。

2　予測

1) 予測項目

予測項目は、次に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の重要な種の生育環境の変化の程度
・事業実施想定区域及びその周囲の重要な群落の変化の程度
・事業実施想定区域及びその周囲の巨樹、巨木林の変化の程度

2) 予測手法

事業実施想定区域と重要な種の生育環境、重要な群落、巨樹・巨木林、注目すべき生育地の重ね合わせにより、直接改変の有無による生育環境の変化に伴う影響を整理した。

3) 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

4) 予測結果

(1) 重要な種

植生の分布状況を踏まえ、改変による生育環境の変化に伴う植物の重要な種に対する影響を予測した。予測結果は表 4.3-25 のとおりである。

なお、重要な種のうち、「デンジソウ」「ヒシモドキ」の 2 種が「環境省レッドリスト(令和 2 年 環境省)」及び「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2022 年版-(令和 4 年　宮城県)」で絶滅（EX）及び野生絶滅（EW）として選定されているため除外し、予測対象種は 336 種とした。

表4.3-25(1)　重要な種への影響の予測結果

主な生育環境	種名※1,2	影響の予測結果
森林、樹林	クマノチョウジゴケ、クマノゴケ、オキナスギゴケ、ヤマトハクチョウゴケ、キヨスミイトゴケ、コハイヒモゴケ、エゾヤハズゴケ、クラマゴケモドキ、マルバヒメクサリゴケ、ナカジマヒメクサリゴケ、ヨコグラハネゴケ、シフネルゴケ、スギラン、ホソバコケシノブ、コハイホラゴケ、イノモトソウ、オオバノハチジョウシダ、ヒロハイヌワラビ、コウライイヌワラビ、ヤブシダ、セイタカシケシダ、ヒカゲワラビ、オニヒカゲワラビ、ハカタシダ、ミヤコヤブソテツ、サクライカグマ、オオイタチシダ、ギフベニシダ、リョウトウイタチシダ、キヨスミヒメワラビ、イノデモドキ、マメヅタ、イワオモダカ、チョウセンゴミシ、ウマノスズクサ、フタバアオイ、ミチノクサイシン、コシノカンアオイ、ヤブニッケイ、ホンゴウソウ、マルバサンキライ、ミヤマスカシユリ、コアニチドリ、エビネ、キンセイラン、ユウシュンラン、キンラン、クゲヌマラン、トケンラン、コアツモリソウ、クマガイソウ、ハマカキラン、エゾスズラン、カモメラン、マツラン、シロテンマ、ヒロハツリシュスラン、ヒメミヤマウズラ、ヒメノヤガラ、ハクウンラン、ギボウシラン、フガクスズムシソウ、セイタカスズムシソウ、ジガバチソウ、スズムシソウ、ヒメフタバラン、アオフタバラン、ミヤマモジズリ、ツレサギソウ、マイサギソウ、ウチョウラン、ヒナチドリ、カヤラン、ヒトツボクロ、ショウキラン、ヒオウギ、ヒメシャガ、ギョウジャニンニク、スズラン、ハコネイトスゲ、ノゲヌカスゲ、マメスゲ、カリヤス、タチイチゴツナギ、アキウネマガリ、ヤマキタダケ、ヒメスズダケ、ナガミノツルケマン、ヤマブキソウ、オサバグサ、ツヅラフジ、センウズモドキ、フクジュソウ、レンゲショウマ、アズマシロカネソウ、トウゴクサバノオ、シラネアオイ、スハマソウ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク、ジャケツイバラ、ケヤブハギ、コケミズ、チョウセンキンミズヒキ、サナギイチゴ、イワウメヅル、クロヅル、センダイタイゲキ、シライヤナギ、エゾノタチツボスミレ、オシマオトギリ、カラフトアカバナ、エゾハタザオ、アブクマトラノオ、タチハコベ、ワダソウ、ヤナギトラノオ、ナツツバキ、オオキヌタソウ、ホソバノツルリンドウ、ツルカメバソウ、イワタバコ、シラゲヒメジソ、ヤマジソ、カリガネソウ、タチコゴメグサ、ケヤマウツボ、キヨスミウツボ、ハグロソウ、ソヨゴ、バアソブ、シュウブンソウ、アワコガネギク、ナトリアザミ、フジバカマ、オオニガナ、ホタルサイコ、タニミツバ (138種)	事業実施想定区域内に主な生育環境が存在し、その一部が改変される可能性があることから、生育環境変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。

表4.3-25(2)　重要な種への影響の予測結果

主な生育環境	種名※1,2	影響の予測結果
草地、耕作地、里山、裸地	ヒメキンシゴケ、ヤマハナワラビ、アマナ、ムカゴソウ、ヤマサギソウ、ヒメイズイ、カザグルマ、オキナグサ、マンセンカラマツ、イワカラマツ、ベンケイソウ、ツメレンゲ、モメンヅル、タヌキマメ、レンリソウ、イヌハギ、マキエハギ、オオバタンキリマメ、センダイハギ、マルバヤブマオ、エチゴキジムシロ、シャリンバイ、ハマナス、アラカシ、マルミノウルシ、カラスノゴマ、ハマハタザオ、ハタザオ、ノダイオウ、ナンブワチガイソウ、アカザ、フナバラソウ、コカモメヅル、スズサイコ、ヤマホロシ、ムラサキ、ルリソウ、クワガタソウ、ゴマノハグサ、キセワタ、ハマウツボ、クマツヅラ、キキョウ、シオン、ヒメガンクビソウ、アズマギク、タカサゴソウ、ノニガナ、カワラニガナ、ミチノクヤマタバコ、ムラサキニガナ、カシワバハグマ、アキノハハコグサ、アオヤギバナ、オカオグルマ、オナモミ、ミシマサイコ、マツムシソウ (58種)	事業実施想定区域内に主な生育環境が存在し、その一部が改変される可能性があることから、生育環境変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。
水辺（河川、池沼)、湿地、水田	シタミズゴケ、カサゴケモドキ、コシノヤバネゴケ、ヤリノホゴケ、コウライイチイゴケ、イチョウウキゴケ、ヤマナカヨウジョウゴケ、コアナミズゴケ、オオミズゴケ、コマチゴケ、イヌカタヒバ、ミズニラ、ミズニラモドキ、トネハナヤスリ、ヤシャゼンマイ、アカウキクサ、サンショウモ、ネムロコウホネ、ハンゲショウ、サジオモダカ、マルバオモダカ、アギナシ、ウリカワ、スブタ、ヤナギスブタ、トチカガミ、サガミトリゲモ、イトトリゲモ、ホッスモ、オオトリゲモ、イトイバラモ、ミズオオバコ、コウガイモ、セキショウモ、イトモ、コバノヒルムシロ、エゾノヒルムシロ、センニンモ、ミズヒキモ、ホソバミズヒキモ、ヒロハノエビモ、ツツイトモ、ササバモ、カワツルモ、ミズトンボ、オオミズトンボ、ノビネチドリ、サギソウ、ミズチドリ、イイヌマムカゴ、トキソウ、ヤマトキソウ、カキツバタ、アヤメ、ヤブミョウガ、ミズアオイ、ミクリ、ヤマトミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリ、ホシクサ、イセウキヤガラ、ヤマクボスゲ、スナジスゲ、ムジナスゲ、タチスゲ、ユキグニハリスゲ、オオクグ、カンエンガヤツリ、タチヒメクグ、ニイガタガヤツリ、チシママツバイ、スジヌマハリイ、コツブヌマハリイ、チャボイ、サギスゲ、ナガボテンツキ、トネテンツキ、ノグサ、コシンジュガヤ、ヒメコヌカグサ、ヒナザサ、ウキガヤ、アイアシ、ハマヒエガエリ、タチドジョウツナギ、ウシクサ、コキツネノボタン、ヒキノカサ、ヒメバイカモ、バイカモ、アズマツメクサ、タコノアシ、オグラノフサモ、タチモ、エゾノレンリソウ、トキホコリ、ノウルシ、ヒメミソハギ、ミズマツバ、ヒメビシ、ミズタガラシ、コイヌガラシ、ハマサジ、ヒメタデ、ヤナギヌカボ、ナガバノウナギツカミ	事業実施想定区域内に主な生育環境が存在しないものの、土地の改変による濁水の流入等が発生する可能性があることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。

表4.3-25(3)　重要な種への影響の予測結果

主な生育環境	種名※1,2	影響の予測結果
水辺（河川、池沼)、湿地、水田	サデクサ、ヌカボタデ、ホソバイヌタデ、マダイオウ、ハマアカザ、ハママツナ、クサアジサイ、クリンソウ、サクラソウ、イヌセンブリ、アイナエ、マルバノサワトウガラシ、アブノメ、オオアブノメ、カワヂシャ、ヒナノウスツボ、ヒメハッカ、ナミキソウ、エゾニガクサ、イヌタヌキモ、ミミカキグサ、タヌキモ、ヒメタヌキモ、オオタヌキモ、ムラサキミミカキグサ、ヒメシロアサザ、ガガブタ、アサザ、エゾノタウコギ、コオニタビラコ、エキサイゼリ、ヌマゼリ、レンプクソウ (140種)	事業実施想定区域内に主な生育環境が存在しないものの、土地の改変による濁水の流入等が発生する可能性があることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和３年度生物リスト」(令和３年　国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

※2. デンジソウとヒシモドキは絶滅（EX）及び野生絶滅（EW）として選定されているため、予測対象種より除外した。

(2) 重要な群落

重要な植物群落としては、植生自然度 9 の群落が事業実施想定区域内の一部に存在しているため、改変される場合、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性があると予測する。また、東側エリアに隣接する植生自然度 10 のヨシクラスについて、濁水の流入等の影響が考えられることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。

(3) 巨樹・巨木・天然記念物

巨樹・巨木林、天然記念物に指定されている植物は、事業実施想定区域内に存在しないことから、改変による影響はないものと予測する。

(4) 注目すべき生育地

注目すべき生育地として、事業実施想定区域内に蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域や、植物の重要な生育地として高館・千貫山及び坪沼地域の里地・里山植生等が存在するが、仙台市内の区域は太陽光パネル 1 枚の設置（約 15m^2）であること、自営線は既設道路への埋設等であることから、植物の生育環境への影響は軽微であると想定される。

3　評価

1）評価手法

予測結果を基に、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるかを評価した。なお、仙台市内の区域は太陽光パネル 1 枚の設置（約 15m^2）であること、自営線は既設道路への埋設等であることから、植物の生育環境への影響は軽微であると想定されるため、村田町内の事業実施想定区域を評価対象とした。

2）評価結果

樹林、草地等といった環境を主な生育環境とする重要な種については、その一部が改変される可能性があることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。

重要な植物群落としては、植生自然度 9 の群落が事業実施想定区域内の一部に存在しているため、改変される場合、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。また、東側エリアに隣接する植生自然度 10 のヨシクラスについて、濁水の流入等の影響が考えられることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。

上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。

・植物の生育状況及び植物群落の現状を現地調査等により把握し、重要な種及び重要な植物群落への影響の程度を適切に予測したうえで、必要に応じて太陽光パネルの配置及び環境保全措置を検討する。
・土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生育環境の影響の回避・低減を図る。

4.3.5　生態系

1　調査

1) 調査項目

調査項目は、次に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の重要な自然環境のまとまりの場の分布状況

2) 調査手法

重要な自然環境のまとまりの場の分布状況について、文献その他の資料により調査した。

3) 調査地域

調査地域は、事業実施想定区域及びその周囲を調査対象とした。なお、調査対象地域は、村田町、柴田町、名取市、岩沼市、川崎町、仙台市太白区とした（沿岸部を除く）。

4) 調査結果

文献その他の資料から、重要な自然環境のまとまりの場を抽出した。これらの分布状況等は表 4.3-26 及び図 4.3-13 に示すとおりである。

(1) 環境影響を受けやすい種・場等

文献その他の資料から、以下が確認された。

・植生自然度10及び9に該当する自然植生

(2) 保全の観点から法令等により指定された種・場等

文献その他の資料から、以下が確認された。

・保安林

・鳥獣保護区

(3) 法令等により指定されていないが地域により注目されている種・場等

文献その他の資料から、以下が確認された。

・巨樹・巨木林

・特定植物群落

・「平成 30 年度(2018 年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ･ツキノワグマ)･カモシカ」（平成 31 年　環境省）

・「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」（平成 16 年　環境省）

・ガンカモ類生息地

「ガンカモ類の生息調査(第 37 回　2006 年 1 月一斉調査)」（平成 17 年　環境省）

・動物生息地及び植物生育地として重要な地域

「平成 28 年度　仙台市自然環境に関する基礎調査　報告書」（平成 29 年　仙台市）

表4.3-26　重要な自然環境のまとまりの場

選定基準	重要な自然環境
・巨樹・巨木	アスナロ スギ
・自然植生	植生自然度 10：河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等 植生自然度　9：ブナクラス域自然植生、ヤブツバキクラス域自然植生
・町指定天然記念物 ・天然記念物	シダレザクラ(村田町指定天然記念物) 滝前不動のフジ(天然記念物)
・天然記念物 ・国内希少野生動植物 ・イヌワシ生息地	イヌワシ生息地(天然記念物・国内希少野生動植物)
・特別天然記念物 ・国内希少野生動植物 ・ツキノワグマ生息地 ・カモシカ生息地	ツキノワグマ生息地 カモシカ生息地(特別天然記念物・国内希少野生動植物)
・ガンカモ類生息地	渡り鳥生息地 　マガン(天然記念物)、コハクチョウ
・保安林	水源かん養保安林
・鳥獣保護区	菅生鳥獣保護区、愛宕山鳥獣保護区、 門野山鳥獣保護区、釜房鳥獣保護区、 仙台鳥獣保護区
・自然公園 ・自然環境保全地域 ・緑地環境保全地域	県立自然公園二口渓谷 樽水・五社山自然環境保全地域（普通地区） 樽水・五社山自然環境保全地域（特別地区） 高舘・千貫山緑地環境保全地域 蕃山・斎藤沼緑地環境保全地域
・動物生息地として重要な地域 ・植物生育地として重要な地域	・動物生息地 太白山・佐保山・鈎取国有林一帯、太白山一帯、奥羽山脈から青葉山　丘陵地域への緑の回廊、高館・千貫山、坪沼地区、秋保地区、名取川（上～中流域） ・植物生育地 太白山のスギ林、鈎取山学術参考保護林周辺の林、下の沢等の沢辺植物群落、太白山のコナラ・ケヤキ林、北赤石中の森と周辺の植生、坪沼のオオバアサガラ林、太白・羽黒台の緑地、沼地域の里地・里山植生、奥羽山脈～青葉山丘陵地域の植生、高館・千貫山、秋保地区の里山

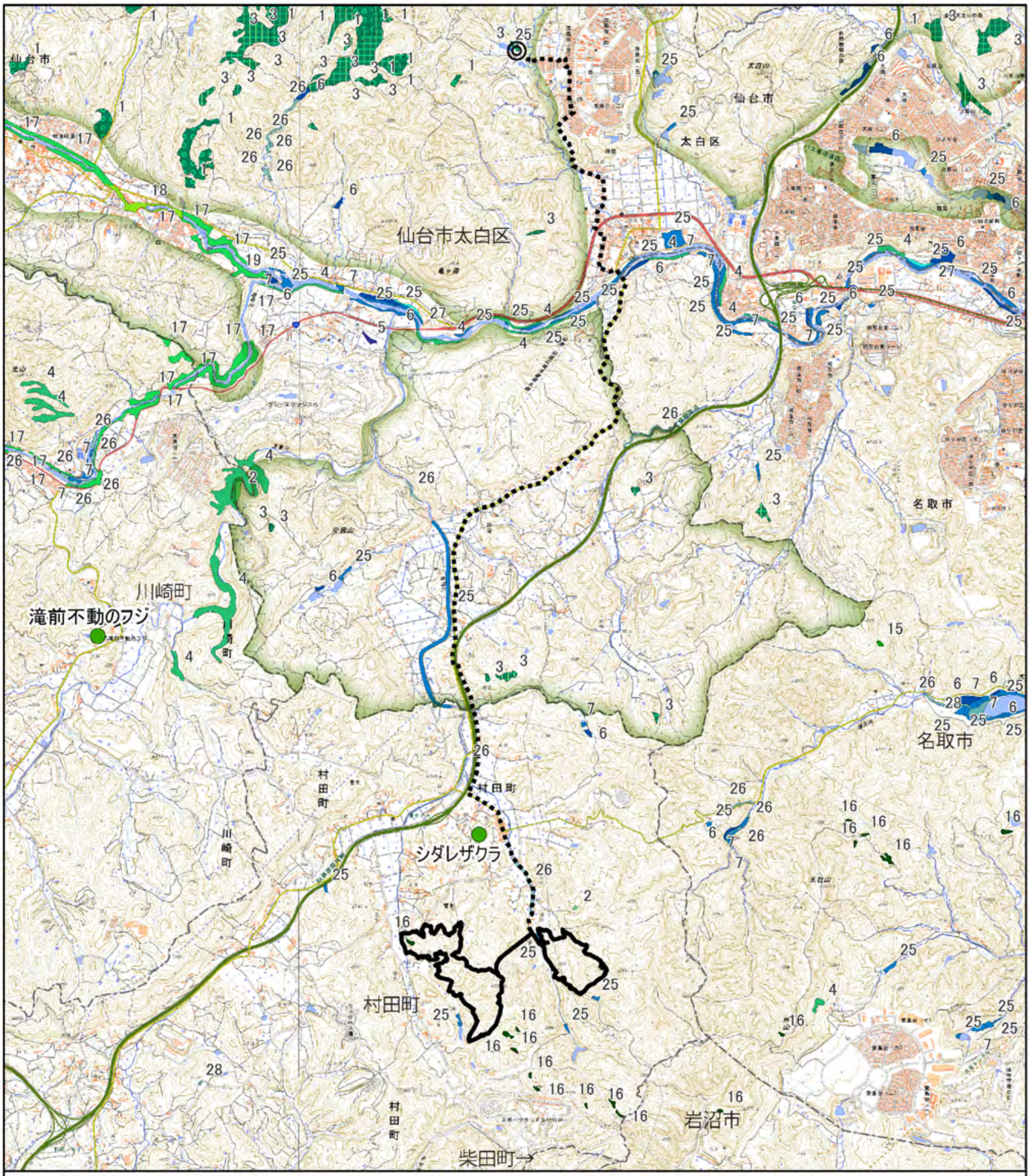

図 4.3-13(1)　植物生育地に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- 天然記念物、巨樹・巨木

植生自然度9,10の群落

- 1.モミ-イヌブナ群集
- 2.イヌシデ-アカシデ群落
- 3.アオハダ-モミ群落
- 4.ケヤキ群落(IV)
- 5.ハンノキ群落(IV)
- 6.ヤナギ高木群落(IV)
- 7.ヤナギ低木群落(IV)
- 15.ウラジロガシ群落
- 16.シキミ-モミ群集
- 17.ケヤキ群落(VI)
- 18.イヌシデ-アカシデ群落(VI)
- 19.ヤナギ高木群落(VI)
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集
- 27.オギ群集
- 28.ヒルムシロクラス
- 植物生育地として重要な地域(仙台市)

N　1:60,000　0　1　2 km

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(自然環境情報 GIS 提供システム)(環境省生物多様性センターHP)、「文化遺産オンライン」(文化庁 HP)、(閲覧:令和４年４月)より作成

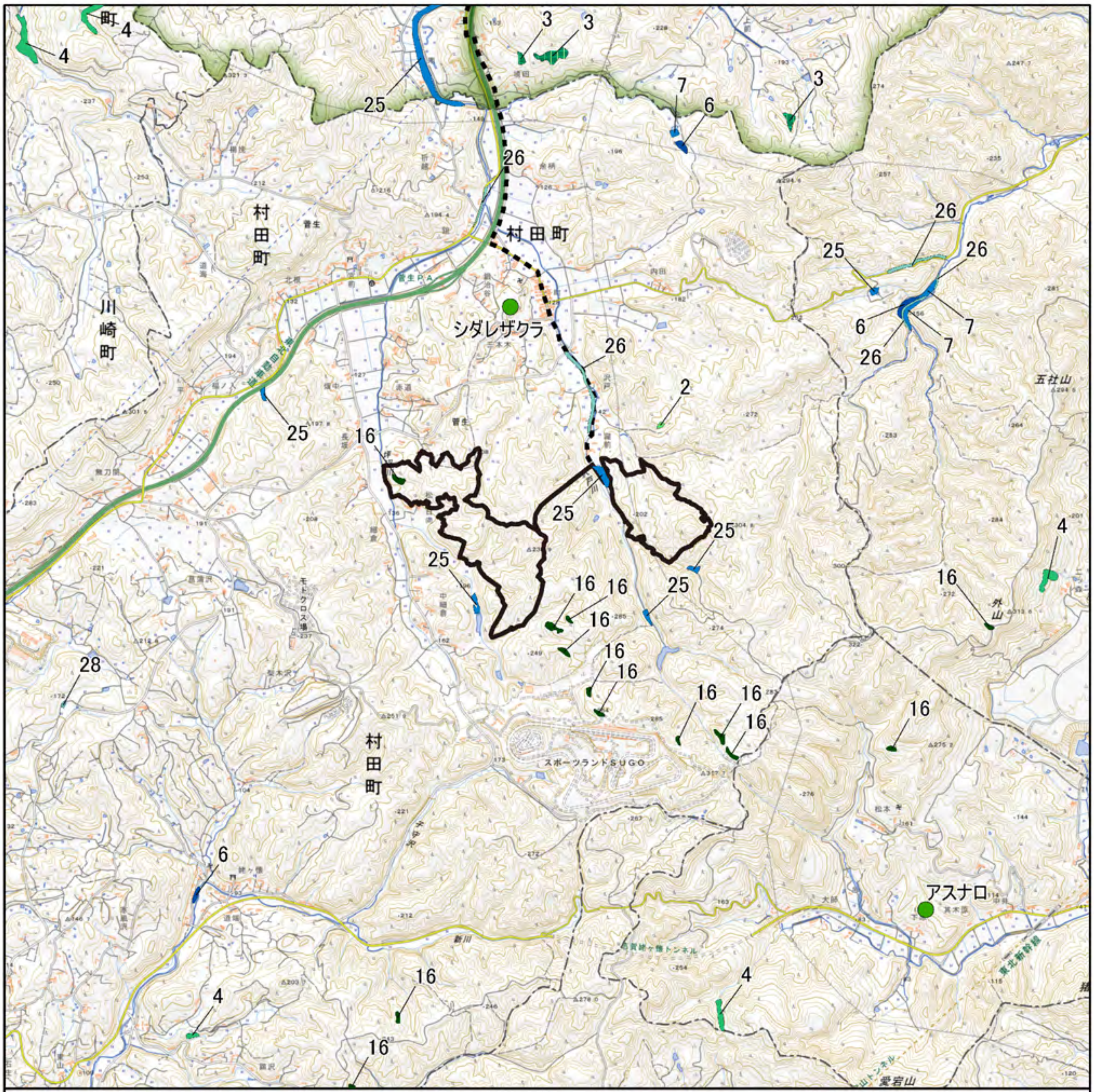

図 4.3-13(2)　植物生育地に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域（村田町内）
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- 天然記念物、巨樹・巨木

植生自然度9,10の群落

- 2.イヌシデ－アカシデ群落
- 3.アオハダ－モミ群落
- 4.ケヤキ群落（IV）
- 6.ヤナギ高木群落（IV）
- 7.ヤナギ低木群落（IV）
- 16.シキミ－モミ群集
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集
- 28.ヒルムシロクラス

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

- 植物生育地として重要な地域（仙台市）

出典：「自然環境保全基礎調査（植生調査）」（自然環境情報 GIS 提供システム）、（環境省生物多様性センターHP）、「文化遺産オンライン」（文化庁 HP）、（閲覧：令和 4 年 4 月）より作成

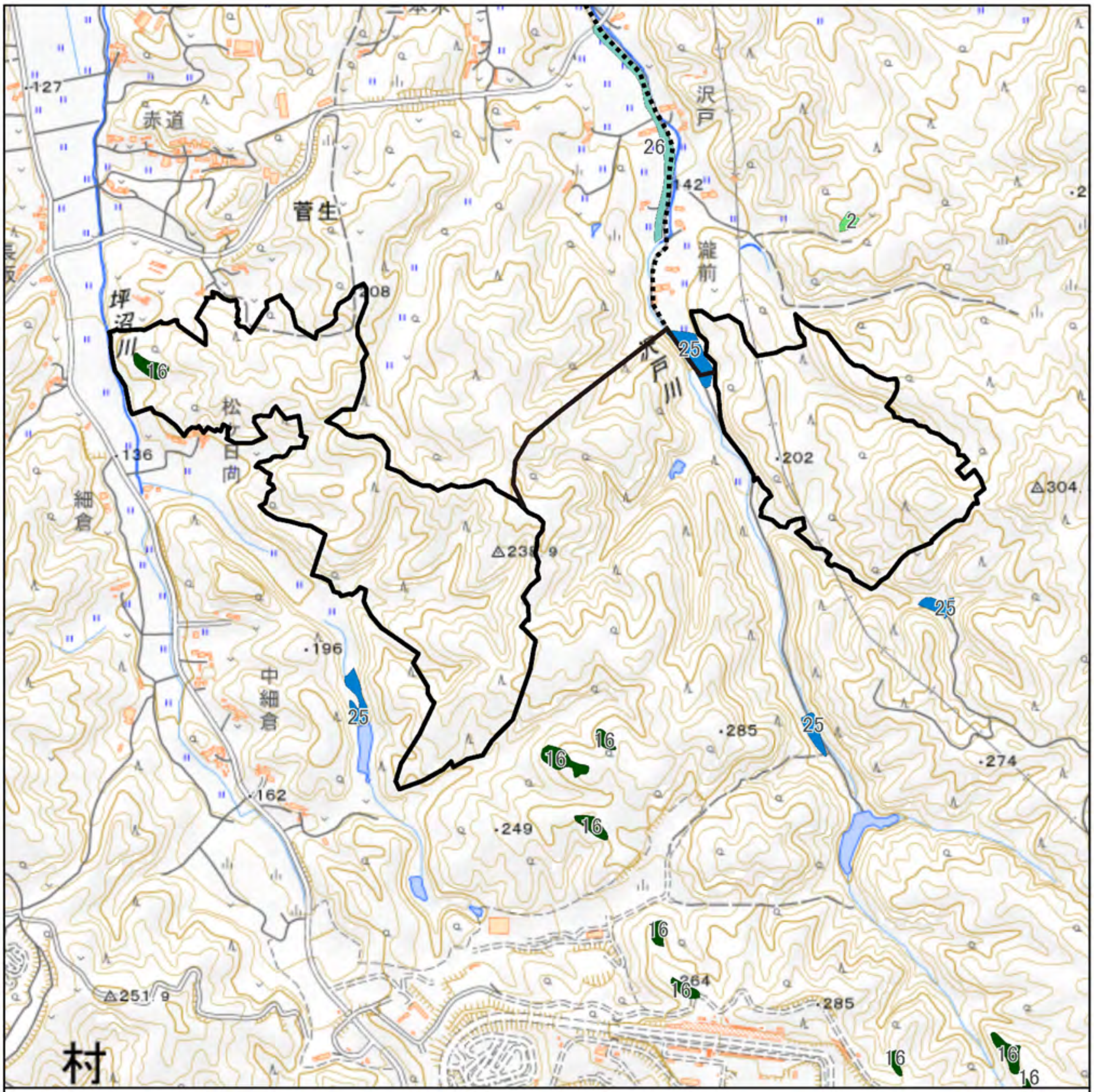

図 4.3-13(3)　植物生育地に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況（拡大図）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）

植生自然度9,10の群落

- 2.イヌシデーアカシデ群落
- 16.シキミーモミ群集
- 25.ヨシクラス
- 26.ツルヨシ群集

N

1:15,000

0　0.25　0.5 km

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」、「第 4 回自然環境保全基礎調査　巨樹・巨木林調査(自然環境情報 GIS 提供システム)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

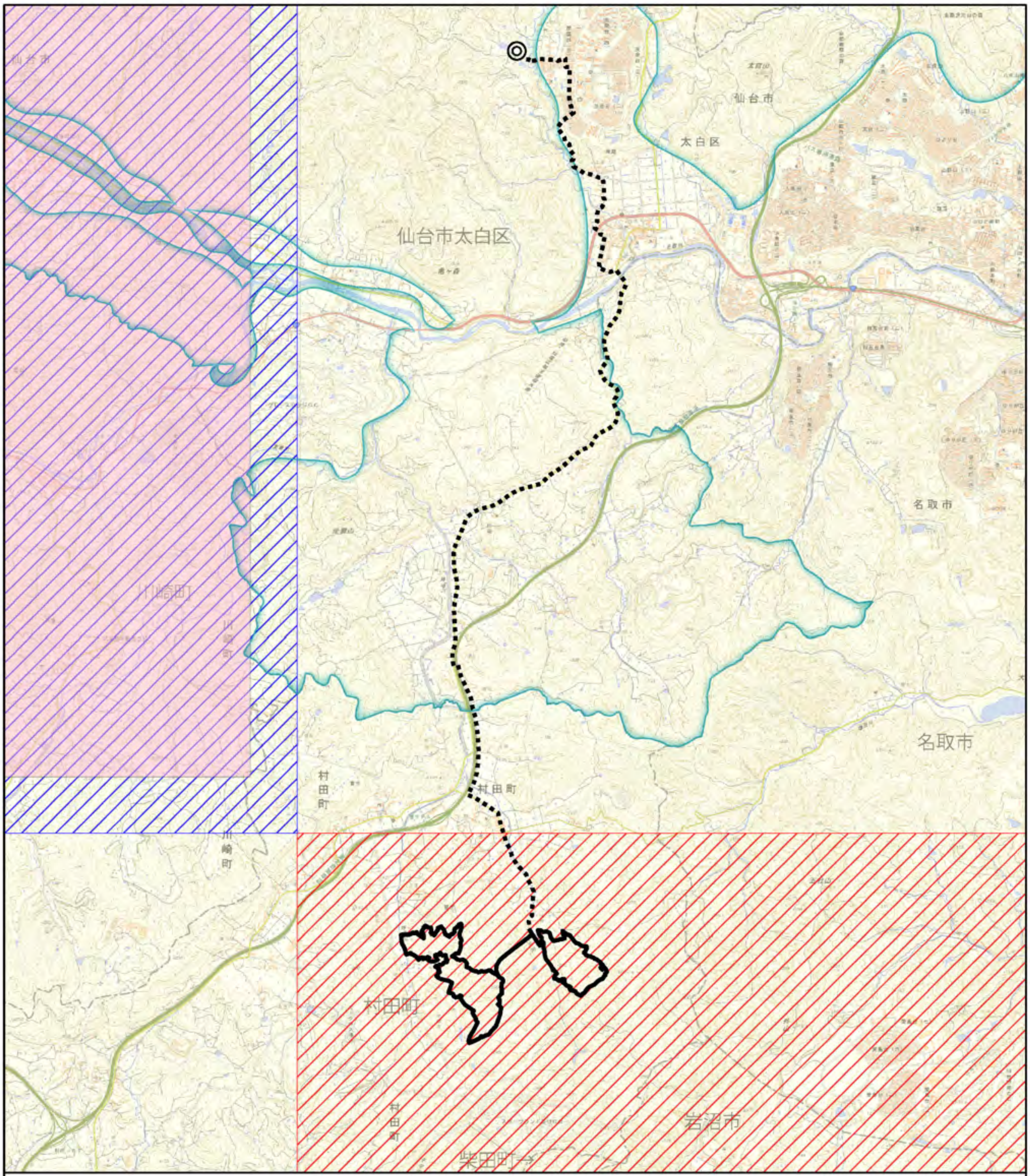

図 4.3-13(4)　動物生息地に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況

凡例
- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- イヌワシ生息地
- ツキノワグマ、カモシカ生息地
- 渡り鳥生息地
  - マガン
  - コハクチョウ
- 動物生息地として重要な地域(仙台市)

N　1:60,000　0 1 2 km

出典:「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」、「要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査」(環境省 HP)、「ガンカモ類の生息調査」、「モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査」(生物多様性センターHP)、(閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

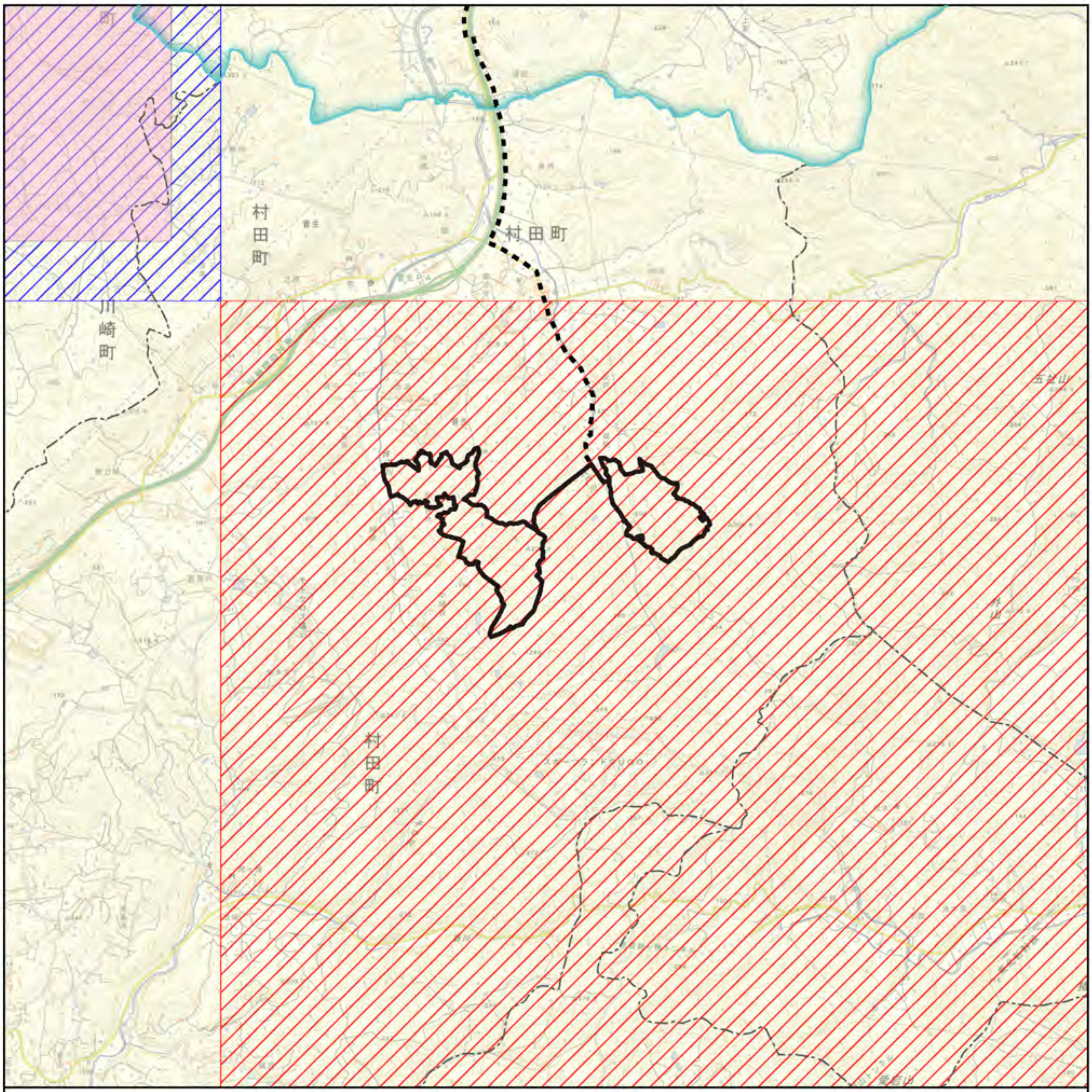

図 4. 3-13(5)　動物生息地に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- イヌワシ生息地
- ツキノワグマ、カモシカ生息地
- 渡り鳥生息地
  - マガン
  - コハクチョウ
- 動物生息地として重要な地域(仙台市)

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

出典：「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」、「要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査」(環境省 HP)、「ガンカモ類の生息調査」、「モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査」(生物多様性センターHP)、「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」(仙台市 HP)、(閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

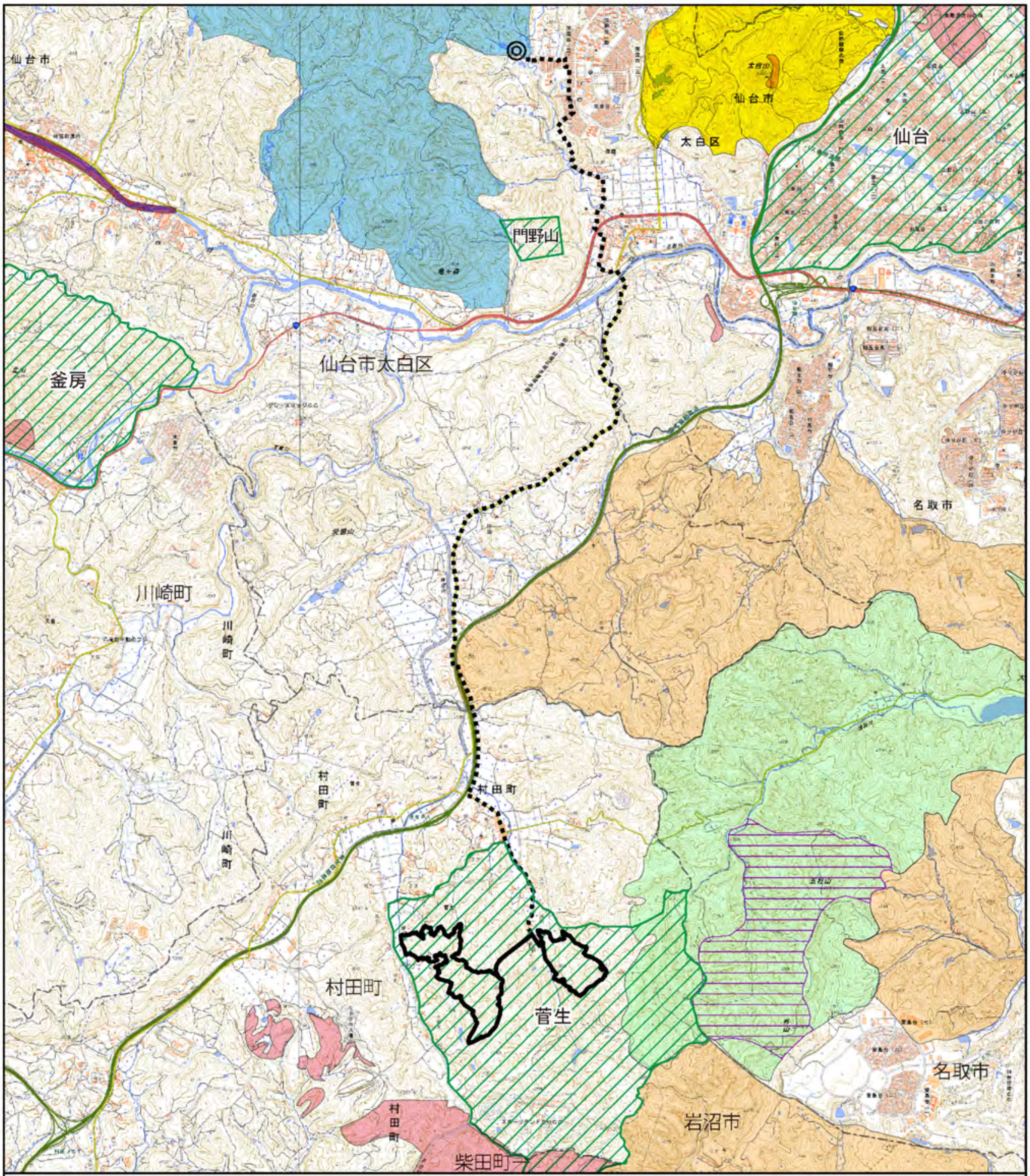

図 4.3-13(6)　法令等に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況

凡例

- 事業実施想定区域（村田町内）
- 事業実施想定区域（仙台市内）
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- 県立自然公園二口峡谷
- 樽水･五社山県自然環境保全地域（普通地区）
- 樽水･五社山県自然環境保全地域（特別地区）
- 太白山県自然環境保全地域（普通地区）
- 高館･千貫山緑地環境保全地域
- 蕃山･斎勝沼緑地環境保全地域
- 鳥獣保護区
- 水源かん養保安林（民有林）

N

1:60,000

0　1　2 km

出典：「令和 3 年度鳥獣保護区等位置図」、「自然公園等区域閲覧サービス」（宮城県 HP）、「国土数値情報（鳥獣保護区データ、自然保全地域データ、森林地域データ）」（国土交通省 HP）、（閲覧：令和 4 年 4 月）より作成

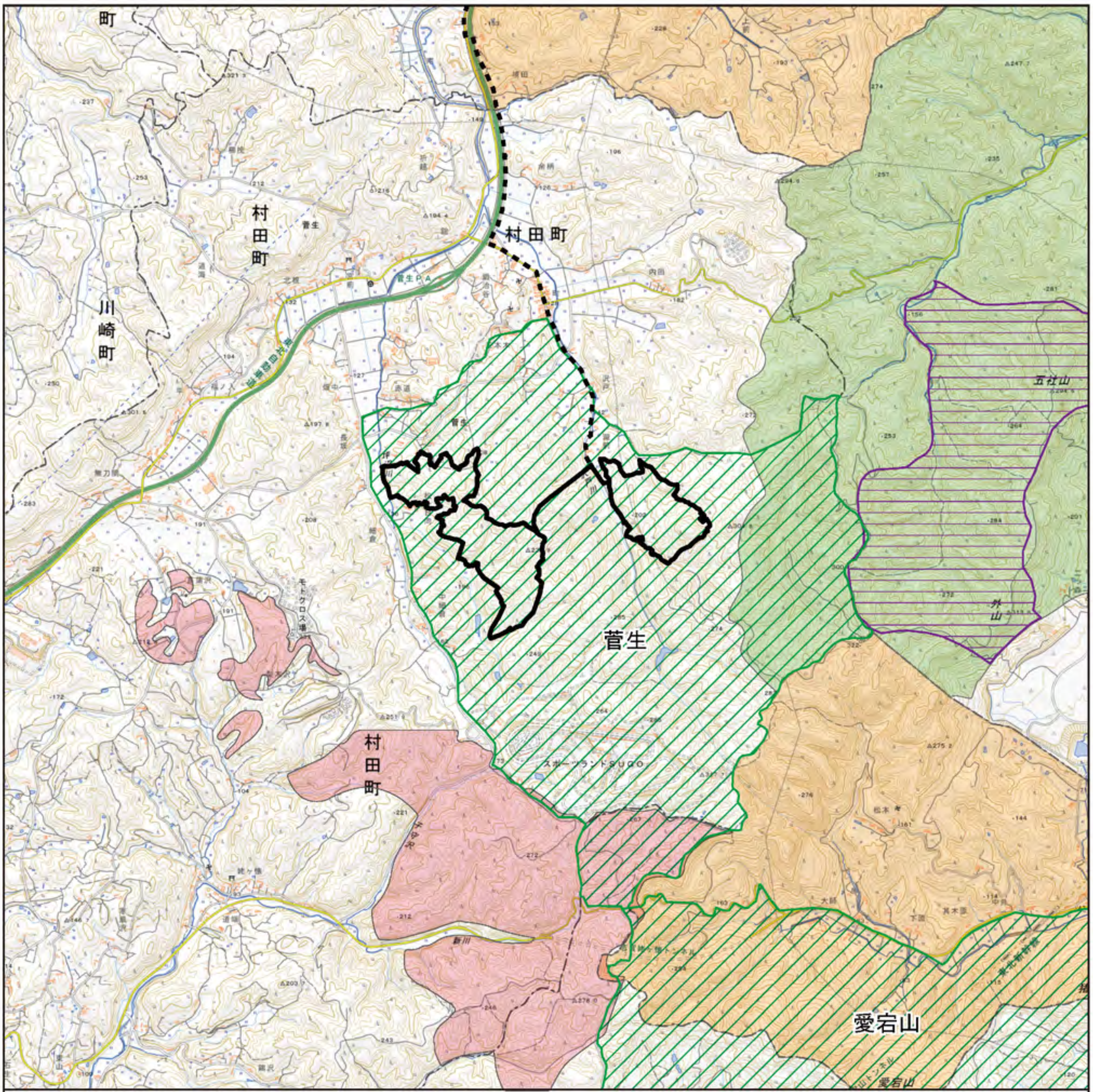

図 4.3-13(7)　法令等に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況（村田町内）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- 樽水・五社山自然環境保全地域（普通地区）
- 樽水・五社山自然環境保全地域（特別地区）
- 高館・千貫山緑地環境保全地域
- 鳥獣保護区
- 水源かん養保安林（民有林）

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

出典:「令和 3 年度鳥獣保護区等位置図」、「自然公園等区域閲覧サービス」（宮城県 HP)、「国土数値情報(鳥獣保護区データ、自然保全地域データ、森林地域データ)」(国土交通省 HP)、(閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

2　予測

1) 予測項目

予測項目は、次に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の重要な自然環境のまとまりの場の変化の程度

2) 予測手法

事業実施想定区域と重要な自然環境のまとまりの場の重ね合わせにより、直接的な改変の有無及び施設の稼働に伴う影響を整理した。

3) 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

4) 予測結果

重要な自然環境のまとまりの場と事業実施想定区域の位置関係は図 4.3-13、影響の予測結果は表 4.3-27 に示すとおりである。

事業実施想定区域には、菅生鳥獣保護区及び植生自然度 9 に相当する自然植生が一部に存在する。菅生鳥獣保護区及び植生自然度 9 に相当する自然植生の面積の減少により生態系に影響が生じる可能性があると予測する。

表4.3-27　重要な自然環境のまとまりの場への影響の予測結果

重要な自然環境のまとまりの場		抽出理由
自然植生	植生自然度10	事業実施想定区域外であることから、直接改変による影響はないと予測する。
	植生自然度9	事業実施想定区域に含まれ、その一部が直接改変される可能性があり、面積の減少による影響が生じる可能性があると予測する。
自然公園	県立自然公園	事業実施想定区域外であることから、直接改変による影響はないと予測する。
保安林	水源かん養保安林	事業実施想定区域外であることから、直接改変による影響はないと予測する。
鳥獣保護区	鳥獣保護区	事業実施想定区域に含まれ、その一部が直接改変される可能性があり、面積の減少による影響が生じる可能性があると予測する。
特定植物群落	該当なし	事業実施想定区域外であることから、直接改変による影響はないと予測する。
巨樹・巨木林	アスナロ スギ	事業実施想定区域外であることから、直接改変による影響はないと予測する。
動物生息地として重要な地域 植物生育地として重要な地域	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域 高館・千貫山及び坪沼地域	事業実施想定区域に含まれる仙台市内の区域は太陽光パネル1枚の設置（約15m^2）であること、自営線は既設道路への埋設等であることから、直接改変による影響は軽微であると予測する。

3　評価

1）評価手法

予測結果を基に、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるかを評価した。なお、仙台市内の区域は太陽光パネル 1 枚の設置（約 15m^2）であること、自営線は既設道路への埋設等であることから、生態系への影響は軽微であると想定されるため、村田町内の事業実施想定区域を評価対象とした。

2）評価結果

事業実施想定区域には、菅生鳥獣保護区及び植生自然度 9 に相当する自然植生が一部に存在する。菅生鳥獣保護区及び植生自然度 9 に相当する自然植生の面積の減少により生態系に影響が生じる可能性がある。

上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。

・自然植生について、現地調査等により植生の状況を把握する。
・現地調査等により生態系注目種及び注目すべき生息・生育の場への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて環境保全措置を検討する。

4.3.6　景観

1　調査

1）調査項目

調査項目は、次に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点の分布状況
・事業実施想定区域及びその周囲の主要な景観資源の分布状況

2）調査手法

主要な眺望点の分布状況について、文献その他の資料により調査した。

3）調査地域

事業実施想定区域のうち、本計画段階における太陽電池発電事業の影響を受けると想定される村田町内の事業実施想定区域及びその周囲に加え、太陽光パネル 1 枚を設置する仙台市内の区域を調査対象とした。

4）調査結果

(1)　主要な眺望点の分布状況

文献その他の資料調査結果に基づき、事業実施想定区域及びその周囲における主要な眺望点の分布状況を表 4.3-28、その位置を図 4.3-14 に示す。

表 4.3-28(1)　事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点

No.	主な眺望点	参考資料※1	地点の概要
1	五社山	五社山 (名取市観光物産協会HP)	豊かな生物相を有し学術的にも貴重な里山です。 五社山は、宮城県内で見られる典型的な里山ですが、気候に特徴があります。温暖帯から冷温帯に移行する推移帯に位置しています。この気候から、いろいろな動植物が生息する豊かな生物相をなしていて、学術的にも貴重な地域となっています。
	五社山・外山	第3回自然環境保全基礎調査 宮城県自然環境情報図 (平成元年 環境庁)	自然景観資源 ・非火山性孤峰
2	三方塚	岩沼市の観光スポット (岩沼市HP)	三方塚からは雄大な蔵王連峰を望むことが出来ます。
3	スポーツランドSUGO (見晴台)	村田町の観光案内サイトMURATABI (村田町観光物産協会HP)	スポーツランドSUGOは1975年5月にオープンし、210万m²の広大な敷地に3つの国際公認コースとして、レーシングコース・モトクロスコース・西コースとトライアルの専門コースを有した国内屈指のモータースポーツ施設です。
4	民話の里 民話伝承館	村田町観光マップ・アクセス (村田町HP)	かやぶき屋根が目を引く民話伝承館・ふるさとおとぎ苑では、昔の日常と風景を大切に守っています。構内にあるかやぶき屋根の民家は、村田町指定文化財にも指定されている、貴重な建物です。その中は昔の様子が再現されており、当時の生活を静かに物語っています。
	旧八巻家住宅	町の文化財(村田町HP)	村田町指定有形文化財
5	姥の手掛け石	村田町観光総合ガイド (村田町HP)	京都で鬼の片腕を切り落とした源頼光の家来・渡辺綱。鬼は村田町までやって来て、綱の伯母に化けることで腕を取り戻したものの、逃げ去る途中で綱に追いかけられ攻守逆転。その際に鬼が滑って転び手をついた跡が、この「姥の手掛け石」だと言われています。
6	岩蔵寺	宮城まるごと探訪 (宮城県観光連盟HP)	岩沼市内で最古の寺院であり、貞観2年(860)に慈覚大師によって開かれたと伝えられる。現存する薬師堂は戦国時代から江戸時代初期に築造されたと考えられ、堂内には近江国（滋賀県）から勧請したという本尊が秘仏として開かずの厨子に納められている。
7	菅生神社	菅生神社 (宮城県神社庁HP) 町の文化財(村田町HP)	菅生神社は、桓武天皇の延暦年中（782～805）坂上田村麻呂東征のみぎり、武甕槌神外五神を勧請し、国家安穏・産業振興を祈請した。祭礼日に神輿や神楽が行われ、菅生神社神楽は町の無形民俗文化財に指定されている。
8	太白山	太白山県自然環境保全地域 （宮城県HP)	県自然環境保全地域 太白山には登山道が整備されており、休日等には、家族連れなど多くの登山客が山頂をめざして汗を流しています。太白山(標高320.7m)の本体は、今から数百万年前に火山の溶岩通り道に貫入した溶岩でできており、たいへん堅い岩石のため、火山本体が侵食された後も侵食されずに残り、三角錐の美しい形になりました。この地域には、約700種の高等植物が生育し、トウゴクミツバツツジ、センダイトウヒレンなど北限に近い種もあります。また、春の女神とも言われるヒメギフチョウの生息が知られており、ヒメギフチョウの食草であるウスバサイシンを見ることもできます。
9	鹿の上山	第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源 (昭和62年 環境庁) 平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 (仙台市HP)	自然景観資源 ・非火山性孤峰 県緑地環境保全地域 北赤石にある火山岩頸。中の森、亀ケ森と合わせて三高ケ森とよばれる。標高326m、比高160m。

※1.出典は、参考資料の各HP(閲覧:令和4年4月)より作成

表 4.3-28(2)　事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点

No.	主な眺望点	参考資料※1	地点の概要
10	中の森	第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源(昭和62年 環境庁) 平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 (仙台市HP)	自然景観資源 ・非火山性孤峰 県緑地環境保全地域 北赤石にある火山岩頸。鹿の上山、亀ケ森と合わせて三高ケ森とよばれる。円錐形の山が3つ並んでそびえ、中央の中の森にはさまざまな神がまつられている。標高292m、比高135m。
11	亀ケ森	第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源(昭和62年 環境庁) 平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 (仙台市HP)	自然景観資源 ・非火山性孤峰 県緑地環境保全地域 北赤石にある火山岩頸。中の森、鹿の上山と合わせて三高ケ森とよばれる。標高344.5m、比高220m。
12	愛宕山	第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源(昭和62年 環境庁) 平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 (仙台市HP)	自然景観資源 ・非火山性孤峰 生物多様性保全上重要な里地里山 坪沼地区にある。標高325m、比高125m。

※1.出典は、参考資料の各HP(閲覧:令和4年4月)より作成

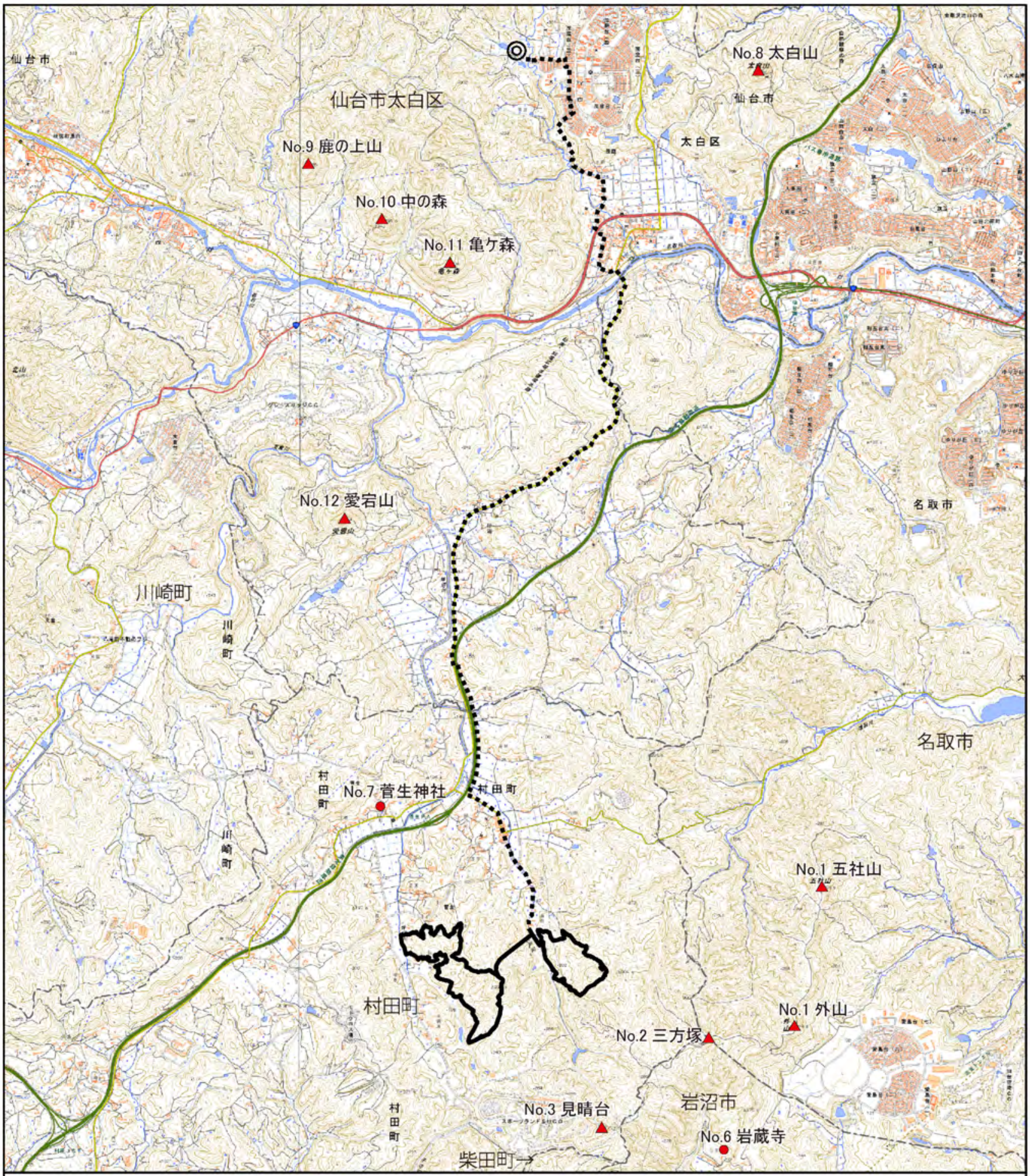

図 4.3-14(1)　主要な眺望点の状況

凡例
- 事業実施想定区域(村田町内)
- ◎ 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域（自営線敷設想定ルート）
- 行政区域
- ▲ ● } 主要な眺望点

N　1:60,000　0　1　2 km

※ 図中の No. は表 4.3-27 に対応する。

出典:「名取市観光物産協会 五社山」(名取市観光物産協会 HP)、「第 3 回自然環境保全基礎調査　自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「岩沼市の観光スポット　志賀高原ハイキングコース」(岩沼市 HP)、「村田町の観光案内サイト MURATABI」(村町観光物産協会 HP)、「村田町観光マップ･アクセス 民話の里」、「村田町観光総合ガイド」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「菅生神社」(宮城県神社庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

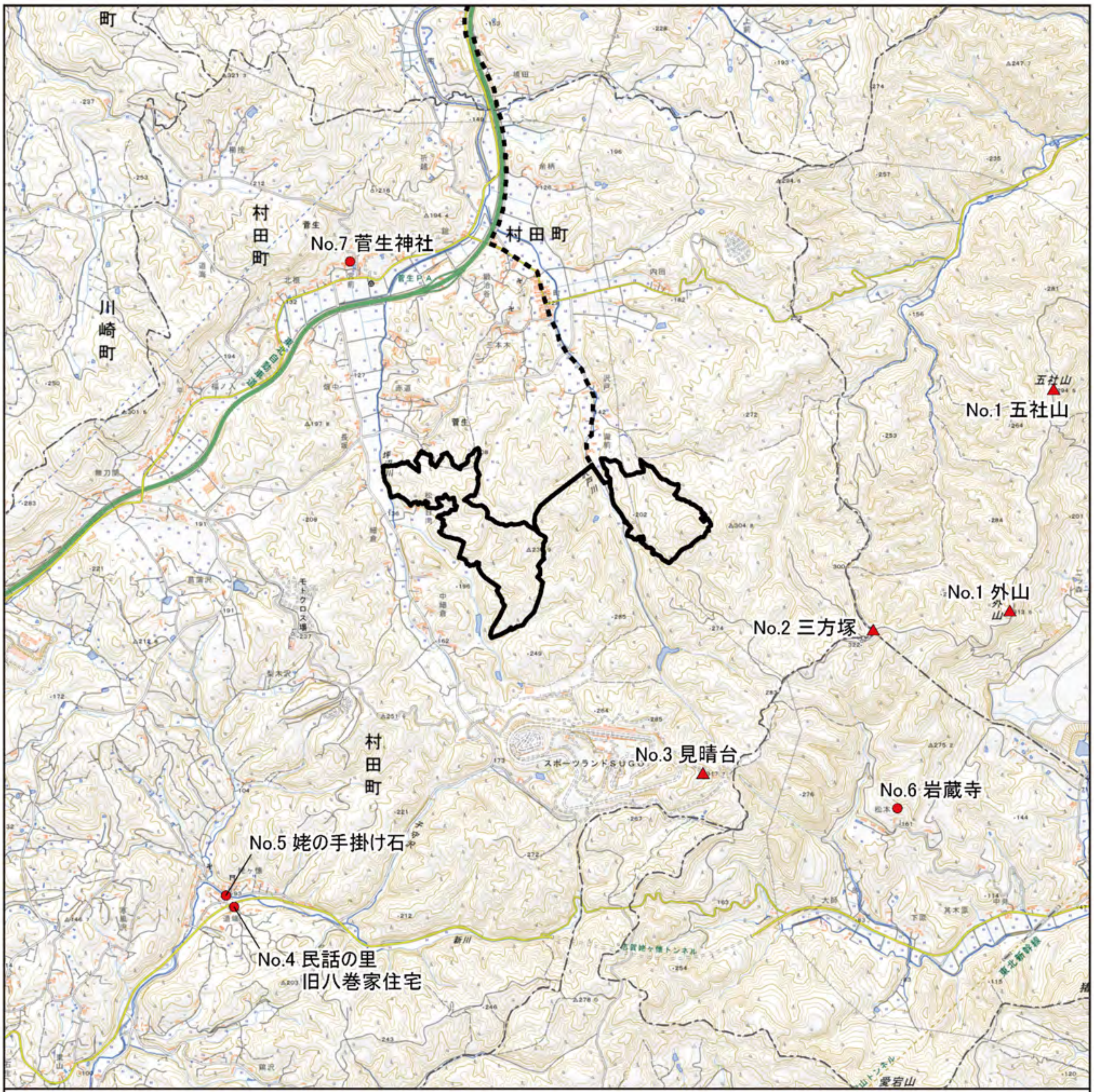

図 4.3-14(2)　主要な眺望点の状況（村田町内）

凡例

事業実施想定区域(村田町内)

事業実施想定区域
(自営線敷設想定ルート)

行政区域

主要な眺望点

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

※ 図中の No. は表 4.3-27 に対応する。

出典:「名取市観光物産協会 五社山」(名取市観光物産協会 HP)、「第 3 回自然環境保全基礎調査　自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「岩沼市の観光スポット 志賀高原ハイキングコース」(岩沼市 HP)、「村田町の観光案内サイト MURATABI」(村田町観光物産協会 HP)、「村田町観光マップ･アクセス 民話の里」、「村田町観光総合ガイド」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「菅生神社」(宮城県神社庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

(2) 主要な景観資源の分布状況

文献その他の資料調査結果に基づき、事業実施想定区域及びその周囲において主要な景観資源の分布状況を表 4.3-29、その位置を図 4.3-15 に示す。

表 4.3-29(1)　事業実施想定区域及びその周囲の自然景観資源

No.	自然景観資源	所在地	種類	指定状況
1	五社山・外山	名取市	非火山性孤峰	樽水・五社山県自然環境保全地域
2	愛宕山	仙台市太白区	非火山性弧峰	生物多様性保全上重要な里地里山 (坪沼地区)
3	仙台市北赤石名 取川畔	仙台市太白区	河成段丘	
4	碁石川渓谷	仙台市太白区	峡谷・渓谷	
5	亀ヶ森	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域
6	中の森	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域
7	磊々峡	仙台市太白区	峡谷・渓谷	県立自然公園二口渓谷 仙台市 緑の名所 100 選
8	鹿の上山	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域
9	太白山	仙台市太白区	非火山性弧峰	太白山県自然環境保全地域

出典：「第 3 回自然環境保全基礎調査　自然景観資源調査」、「生物多様性保全上重要な里地里山」(環境省生物多様性センターHP)、「県自然環境保全地域・緑地環境保全地域」(宮城県 HP)、「仙台市緑の名所 100 選」(仙台市 HP)(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

表 4.3-29(2)　事業実施想定区域及びその周囲の歴史的・文化的景観資源

No.	歴史的・文化的景観資源	所在地	種類	指定状況
10	生出山八幡神社里宮	仙台市太白区	社寺	仙台市指定登録文化財
11	旧伊達邸	仙台市太白区	歴史的建造物	仙台市指定登録文化財
12	上前十三塚	仙台市太白区	有形民俗文化財	仙台市指定登録文化財
13	民話の里	村田町	文化的観光施設	
	旧八巻家住宅	村田町	歴史的建造物	村田町指定有形文化財
14	源蔵沢の板碑	村田町	歴史資料	村田町指定有形文化財
15	猫神の石碑	村田町	歴史資料	村田町指定有形文化財
16	菅生館跡	村田町	史跡	村田町指定記念物
17	シダレザクラ	村田町	天然記念物	村田町指定記念物
18	姥の手掛け石	村田町	社寺	
19	菅生神社	村田町	社寺	
20	三方塚	岩沼市	岩沼市最高峰	
21	岩蔵寺	岩沼市	社寺	
22	滝前不動のフジ	川崎町	天然記念物	史跡名勝天然記念物

出典:「村田町観光マップ･アクセス民話の里」、「村田町観光総合ガイド」、「町の文化財」(村田町 HP)、「岩沼市の観光スポット志賀高原ハイキングコース」(岩沼市 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「仙台市の文化財」(仙台市 HP)、「文化遺産オンライン」(文化庁 HP)(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

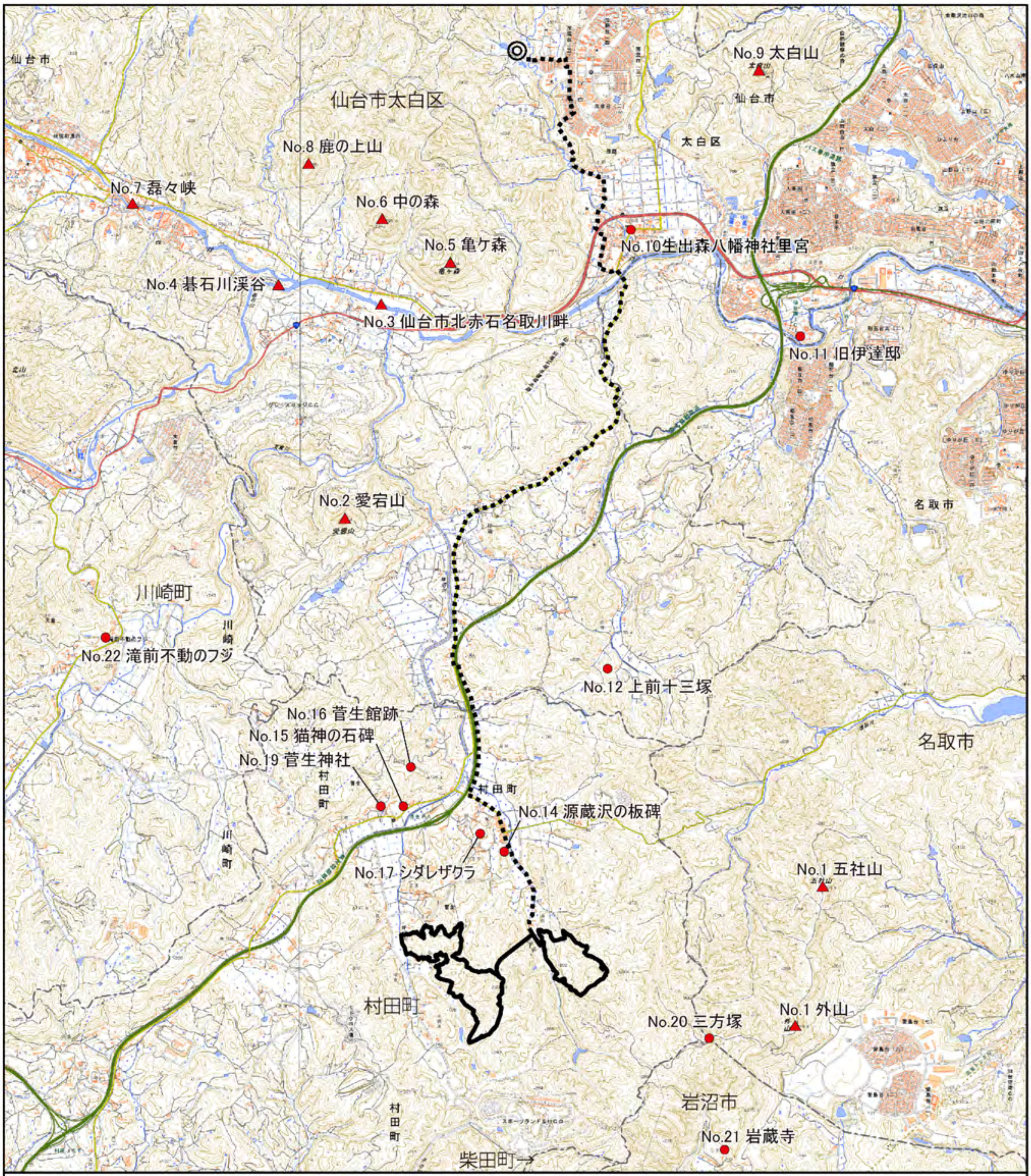

図 4.3-15(1)　主要な景観資源の状況

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- ◎ 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- ▲ 自然景観資源
- ● 歴史的･文化的景観資源

N　1:60,000　0　1　2 km

※ 図中の No. は表 4.3-28 に対応する。

出典:「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「村田町観光マップ･アクセス民話の里」、「村田町観光総合ガイド」、「町の文化財」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「仙台市の文化財」(仙台市 HP)、「文化遺産オンライン」(文化庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

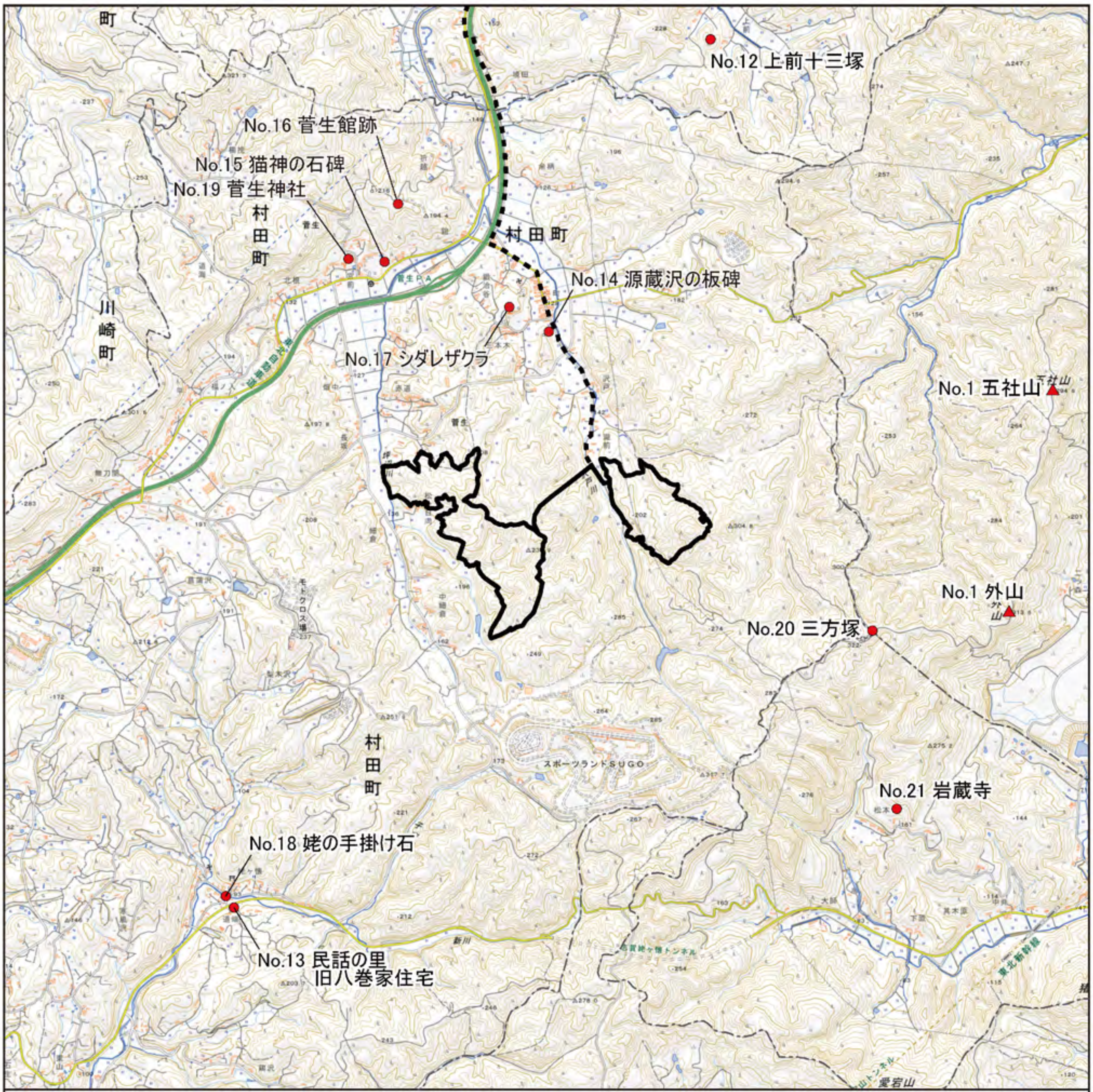

図 4.3-15(2)　主要な景観資源の状況（村田町内）

凡例
事業実施想定区域(村田町内)
事業実施想定区域
(自営線敷設想定ルート)
行政区域
▲ 自然景観資源
● 歴史的･文化的景観資源

N
1:40,000
0 0.75 1.5 km

※ 図中の No. は表 4.3-28 に対応する。

出典:「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「村田町観光マップ･アクセス民話の里」、「村田町観光総合ガイド」、「町の文化財」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「仙台市の文化財」(仙台市 HP)、「文化遺産オンライン」(文化庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

2 予測

1) 予測項目

予測項目は、次に示すとおりとした。

・事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点及び景観資源の改変の程度
・事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望景観の変化の程度

2) 予測手法

(1) 主要な眺望点及び景観資源の改変の程度

事業実施想定区域と主要な眺望点及び景観資源の重ね合わせにより、直接的な改変の有無に伴う影響を整理した。

(2) 主要な眺望景観の変化の程度

事業実施想定区域の可視領域図から主要な眺望点の可視の程度により、施設の稼動に伴う影響を整理した。可視領域図は、国土地理院の基盤地図情報（10m 標高メッシュ）を用いて作成した。このうち、事業実施想定区域（村田町内）は、事業実施想定区域内に 100m 格子点を配置し、可視領域範囲を作成した。

なお、樹木や建物などの遮蔽物の存在による可視、不可視は考慮していない。

3) 予測地域

(1) 主要な眺望点及び景観資源の改変の程度

事業実施想定区域及びその周囲とした。

(2) 主要な眺望景観の変化の程度

予測地域は、調査地域と同様とした。

予測地点は、表 4.3-30 及び図 4.3-16 に示す。

表 4.3-30　主要な眺望点の改変の程度の予測結果

No.	予測地点（主な眺望点）	事業実施想定区域（村田町内）の方向	事業実施想定区域（村田町内）までの距離	主要な眺望方向
1	五社山	西	約 2,300m	東
	五社山・外山	西～北西	約 1,900m	東
2	三方塚	北西	約 1,200m	西～東
3	スポーツランド SUGO(見晴台)	北西～北	約 1,500m	北西
4	民話の里・民話伝承館	北東	約 2,300m	西～南
	旧八巻家住宅	北東	約 2,300m	西～南
5	姥の手掛け石	北東	約 2,300m	西～南
6	岩蔵寺	北西	約 2,100m	東～南東
7	菅生神社	南～南東	約 1,200m	南
8	太白山	南～南西	約 8,800m	西～北
9	鹿の上山	南	約 7,700m	西～南
10	中の森	南	約 7,100m	西～南
11	亀ケ森	南	約 6,700m	北
12	愛宕山	南	約 4,200m	北

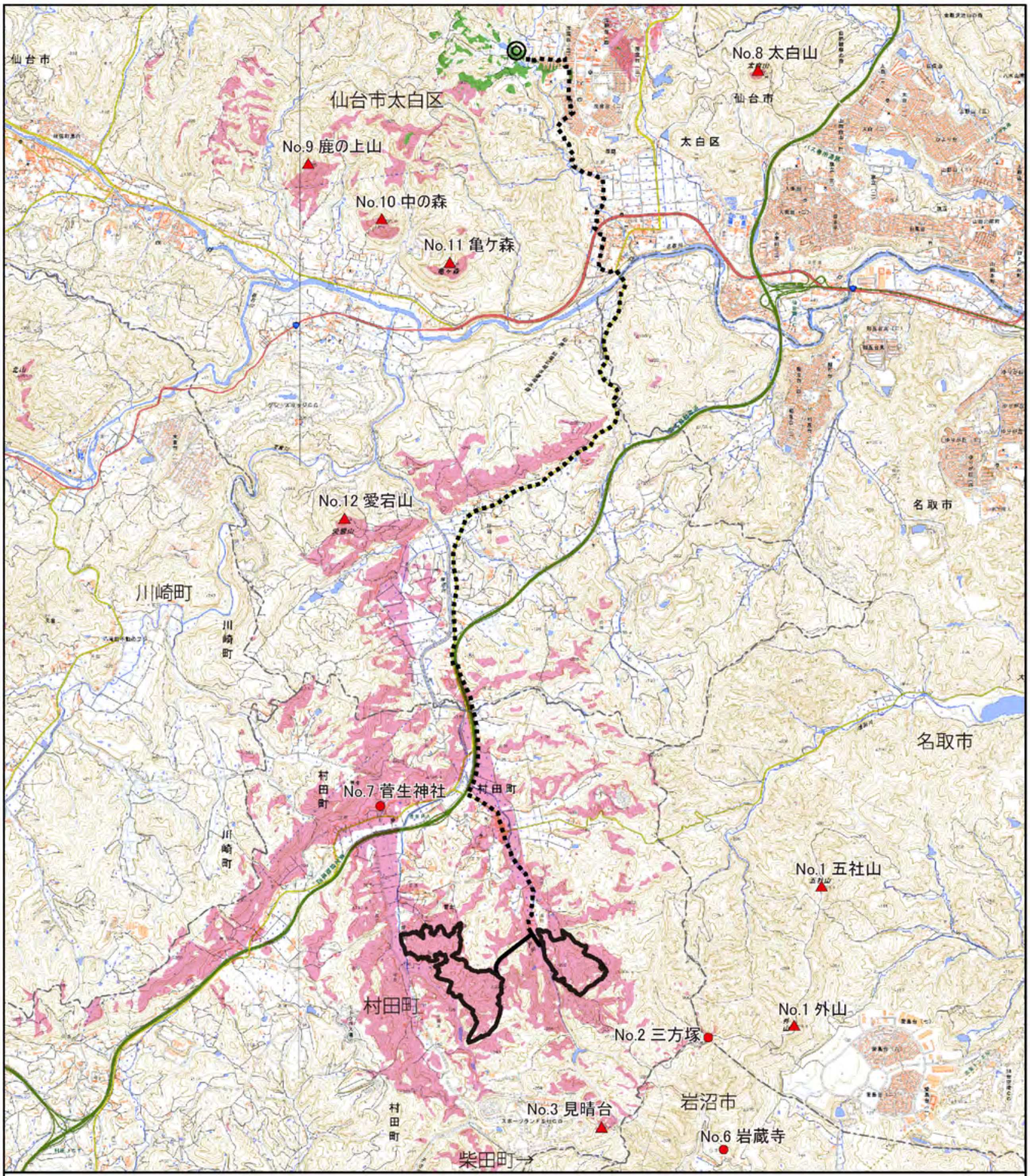

図 4.3-16(1)　事業実施想定区域の周囲における主要な眺望点の状況

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- 主要な眺望点
- 事業実施想定区域(村田町内)の可視領域
- 事業実施想定区域(仙台市内)の可視領域

N　1:60,000　0　1　2 km

※ 図中の No. は表 4.3-29 に対応する。

出典:「名取市観光物産協会 五社山」(名取市観光物産協会 HP)、「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「岩沼市の観光スポット 志賀高原ハイキングコース」(岩沼市 HP)、「村田町の観光案内サイト MURATABI」(村町観光物産協会 HP)、「村田町観光マップ･アクセス 民話の里」、「村田町観光総合ガイド」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪 岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「菅生神社」(宮城県神社庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

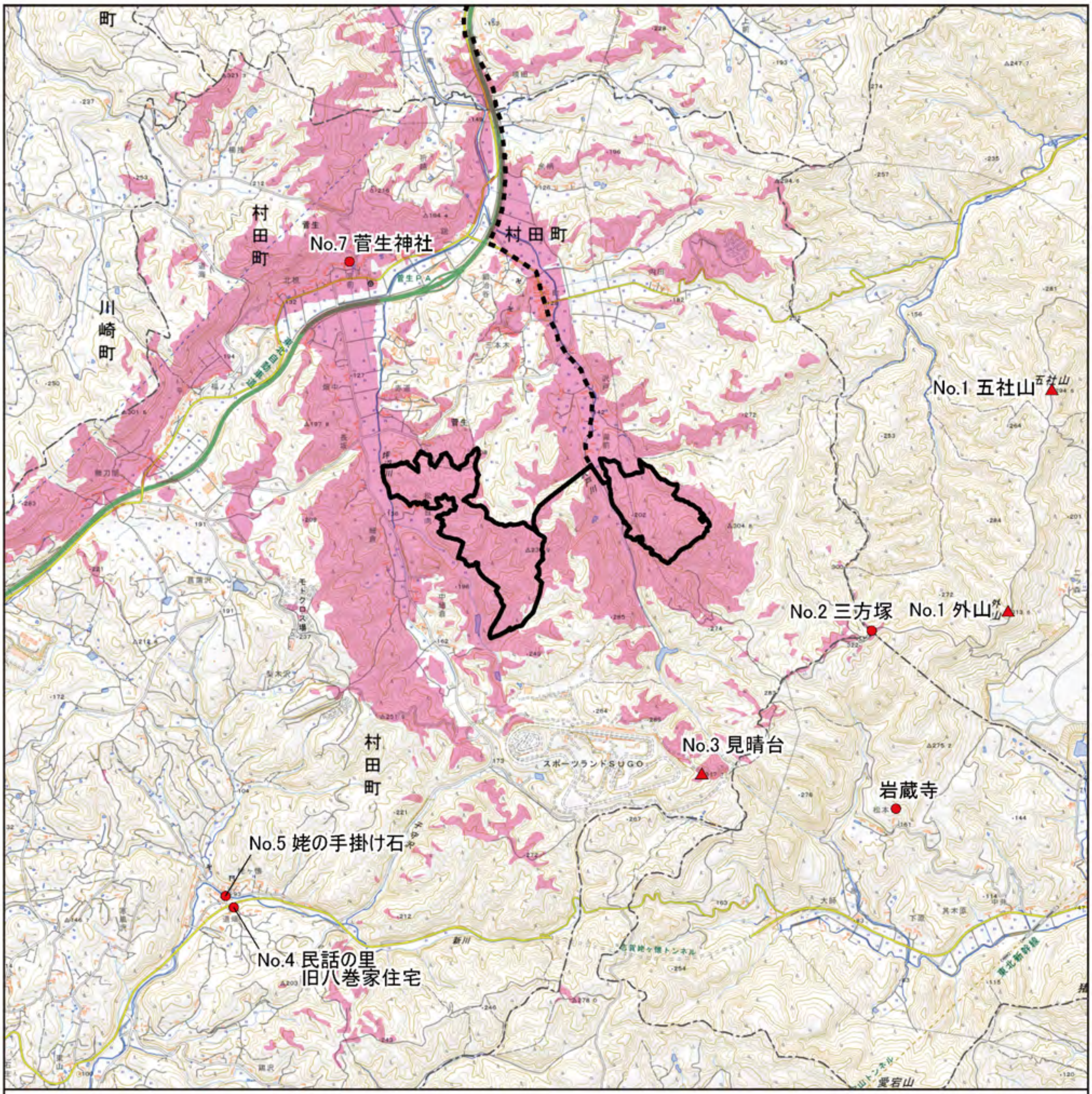

図 4.3-16(2)　事業実施想定区域の周囲における主要な眺望点の状況(村田町内)

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域
- ▲ ● 主要な眺望点
- 事業実施想定区域(村田町内)の可視領域

N

1:40,000

0　0.75　1.5 km

※ 図中の No. は表 4.3-29 に対応する。

出典:「名取市観光物産協会 五社山」(名取市観光物産協会 HP)、「第 3 回自然環境保全基礎調査　自然景観資源調査」(環境省生物多様性センターHP)、「岩沼市の観光スポット 志賀高原ハイキングコース」(岩沼市 HP)、「村田町の観光案内サイト MURATABI」(村町観光物産協会 HP)、「村田町観光マップ･アクセス　民話の里」、「村田町観光総合ガイド」(村田町 HP)、「宮城まるごと探訪　岩蔵寺」(宮城県観光連盟 HP)、「菅生神社」(宮城県神社庁 HP)、(閲覧:令和 4 年 4 月)より作成

4）予測結果

(1) 主要な眺望点及び景観資源の改変の程度

主要な眺望点及び景観資源の改変の程度の予測結果は表 4.3-31 及び表 4.3-32 に示すとおりである。

主要な眺望点及び景観資源の分布状況と事業実施想定区域を重ね合わせた結果、主要な眺望点及び景観資源のいずれの地点も事業実施想定区域内に位置しておらず、直接改変はなく、影響はないと予測する。

表 4.3-31 主要な眺望点の改変の程度の予測結果

No.	主な眺望点	事業実施想定区域までの距離	主要な眺望対象（眺望方向）	予測結果
1	五社山	約 2,300m	東	直接的な改変はない
	五社山・外山	約 1,900m	東	
2	三方塚	約 1,200m	西～東	
3	スポーツランド SUGO(見晴台)	約 1,500m	北西	
4	民話の里・民話伝承館	約 2,300m	西～南	
	旧八巻家住宅	約 2,300m	西～南	
5	姥の手掛け石	約 2,300m	西～南	
6	岩蔵寺	約 2,100m	東～南東	
7	菅生神社	約 1,200m	南	
8	太白山	約 8,800m	西～北	
9	鹿の上山	約 7,700m	西～南	
10	中の森	約 7,100m	西～南	
11	亀ケ森	約 6,700m	北	
12	愛宕山	約 4,200m	北	

表 4.3-32(1)　景観資源の改変の程度の予測結果

類型	景観資源名	所在地	種類	指定状況	予測結果
自然景観資源	五社山・外山	名取市	非火山性孤峰	樽水・五社山県自然環境保全地域	直接的な改変はない
	愛宕山	仙台市太白区	非火山性弧峰	生物多様性保全上重要な里地里山(坪沼地区)	
	仙台市北赤石名取川畔	仙台市太白区	河成段丘		
	碁石川渓谷	仙台市太白区	峡谷・渓谷		
	亀ヶ森	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域	
	中の森	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域	
	磊々峡	仙台市太白区	峡谷・渓谷	県立自然公園二口渓谷 仙台市 緑の名所 100 選	
	鹿の上山	仙台市太白区	非火山性弧峰	蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域	
	太白山	仙台市太白区	非火山性弧峰	太白山県自然環境保全地域	

表 4.3-32(2)　景観資源の改変の程度の予測結果

類型	景観資源名	所在地	種類	指定状況	予測結果
歴史的・文化的景観資源	生出山八幡神社里宮	仙台市太白区	社寺	仙台市指定 登録文化財	直接的な改変はない
	旧伊達邸	仙台市太白区	歴史的建造物	仙台市指定 登録文化財	
	民話の里	村田町	文化的 観光施設		
	旧八巻家住宅	村田町	歴史的建造物	村田町指定 有形文化財	
	源蔵沢の板碑	村田町	歴史資料	村田町指定 有形文化財	
	猫神の石碑	村田町	歴史資料	村田町指定 有形文化財	
	菅生館跡	村田町	史跡	村田町指定 記念物	
	シダレザクラ	村田町	天然記念物	村田町指定 記念物	
	姥の手掛け石	村田町	社寺		
	菅生神社	村田町	社寺		
	三方塚	岩沼市	岩沼市最高峰		
	岩蔵寺	岩沼市	社寺		
	滝前不動のフジ	川崎町	天然記念物	史跡名勝 天然記念物	

(2) 主要な眺望景観の変化の程度

主要な眺望景観の改変の程度の予測結果は表 4.3-33 に示すとおりである。

三方塚、スポーツランド SUGO(見晴台)、菅生神社、太白山、鹿の上山、中の森、亀ケ森、愛宕山は可視範囲に含まれるため、施設の稼動に伴う眺望や生活環境の景観変化に影響を及ぼす可能性が考えられる。

表 4.3-33　主要な眺望景観の改変の程度の予測結果

No.	主な眺望点	事業実施想定区域の方向	事業実施想定区域までの距離	主要な眺望対象(眺望方向)	予測結果
1	五社山	西	約 2,300m	東	可視範囲に含まれないため、影響はない。
	五社山・外山	西～北西	約 1,900m	東	
2	三方塚	北西	約 1,200m	西～東	可視範囲に含まれるため、施設の稼動に伴う眺望や生活環境の景観変化に影響を及ぼす可能性が考えられる。
3	スポーツランド SUGO(見晴台)	北西～北	約 1,500m	北西	
4	民話の里・民話伝承館	北東	約 2,300m	西～南	可視範囲に含まれないため、影響はない。
	旧八巻家住宅	北東	約 2,300m	西～南	
5	姥の手掛け石	北東	約 2,300m	西～南	
6	岩蔵寺	北西	約 2,100m	東～南東	
7	菅生神社	南～南東	約 1,200m	南	可視範囲に含まれるため、施設の稼動に伴う眺望や生活環境の景観変化に影響を及ぼす可能性が考えられる。
8	太白山	南～南西	約 8,800m	西～北	
9	鹿の上山	南	約 7,700m	西～南	
10	中の森	南	約 7,100m	西～南	
11	亀ケ森	南	約 6,700m	北	
12	愛宕山	南	約 4,200m	北	

3　評価

1）評価手法

予測結果を基に、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるかを評価した。

2）評価結果

(1) 主要な眺望点及び景観資源の改変の程度

予測の結果、主要な眺望点及び景観資源のいずれの地点も事業実施想定区域内に位置しておらず、直接改変はなく、影響はないと予測する。

(2) 主要な眺望景観の変化の程度

予測の結果、三方塚、スポーツランド SUGO(見晴台)、菅生神社、太白山、鹿の上山、中の森、亀ケ森、愛宕山が可視範囲に含まれるため、施設の稼動に伴う眺望や生活環境の景観変化に影響を及ぼす可能性が考えられる。

上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。

・今後の太陽光パネル等の配置等の検討においては、身近な視点場における景観の状況を踏まえて検討する。

・今後、現地調査により身近な視点場における景観の状況等を把握し、事業による影響の予測を行い、必要に応じて環境保全措置を検討する。

4.4　計画段階配慮事項の総合評価

重大な環境影響が考えられる項目についての評価の結果は、表4.4-1のとおりである。土地の安定性、反射光、動物、植物及び生態系については、今後の環境影響評価における現地調査及び予測評価結果を踏まえて、環境保全措置を検討することにより、重大な影響を回避又は低減できる可能性が高いと評価する。

今後、方法書以降の手続き等において、より詳細な調査を実施し、太陽光パネルの配置等及び環境保全措置を検討することにより、環境への影響を回避又は低減できるよう留意するものとする。

表 4.4-1(1)　環境影響が考えられる項目についての評価の結果

環境要素	評価結果	方法書以降の手続き等において留意する事項
土地の安定性	事業実施想定区域のうち、造成計画によっては、土地の安定性について斜面崩壊等の影響が生じる可能性がある。 現時点では造成計画が未定であることから、今後の環境影響評価手続き、及び詳細設計において、右に示す事項に留意し、かつ着実に実施することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・今後の環境影響評価手続きにおいては、今後の詳細設計の検討や関係機関との協議並びに環境影響に関する予測・評価結果を踏まえて、周辺地域への環境影響の回避・低減等の対策を考慮のうえで、造成計画及び防災計画の検討を行っていく。 ・今後の太陽光パネル等の配置計画の検討に当たっては、方法書手続き以降における調査結果等を踏まえ、土地の傾斜の状況等を考慮の上で、太陽光パネル等の設置範囲等を検討する。
反射光	事業実施想定区域から 1,000m の範囲には住宅等が 505 戸存在するほか、配慮が特に必要な施設が 1 戸存在する。 上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き、及び詳細設計において、右に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・可能な限り反射光等が少ないパネルを選定する。 ・太陽光パネルからの反射光や輻射熱による近隣民家等への影響が極力発生しないように残置森林の配置を計画する。

表 4.4-1(2)　環境影響が考えられる項目についての評価の結果

環境要素	評価結果	方法書以降の手続き等において留意する事項
動物	樹林、草地及び耕作地といった環境を主な生息環境とする重要な種及び動物の注目すべき生息地においては、その一部が直接改変される可能性があることから、生息環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。また、事業実施想定区域は「菅生鳥獣保護区」、「ツキノワグマ生息地・カモシカ生息地」、「渡り鳥生息地（マガン）」に含まれている。そのため、施設の配置等の事業計画によっては、その一部が改変されることにより、事業実施による影響が生じる可能性がある。 上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、右に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・動物の生息状況を現地調査等により把握し、重要な種への影響の程度を適切に予測したうえで、必要に応じて太陽光パネルの配置及び環境保全措置を検討する。 ・猛禽類については、「猛禽類保護の進め方（改訂版）」（環境省、平成 24 年）に準拠して生息状況の調査を実施する。 ・土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生息環境の影響の回避・低減を図る。
植物	樹林、草地等といった環境を主な生育環境とする重要な種については、その一部が改変される可能性があることから、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。 重要な植物群落としては、植生自然度9の群落が事業実施想定区域内の一部に存在しているため、改変される場合、生育環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。 上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、右に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・植物の生育状況及び植物群落の現状を現地調査等により把握し、重要な種及び重要な植物群落への影響の程度を適切に予測したうえで、必要に応じて太陽光パネルの配置及び環境保全措置を検討する。 ・土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や広報について検討し、生息環境の影響の回避・低減を図る。
生態系	事業実施想定区域には、菅生鳥獣保護区及び植生自然度9に相当する自然植生が一部に存在する。菅生鳥獣保護区及び植生自然度9に相当する自然植生の面積の減少により生態系に影響が生じる可能性がある。 上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、右に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・自然植生について、現地調査等により植生の状況を把握する。 ・現地調査等により生態系注目種及び注目すべき生息・生育の場への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて環境保全措置を検討する。
景観	事業実施想定区域及びその周囲に主要な眺望点が存在しており、新たな施設の存在に伴う眺望や生活環境の景観変化に影響を及ぼす可能性が考えられる。 上記の状況を踏まえ、今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、右に示す事項に留意することにより、重大な環境影響の回避又は低減が将来的に可能であるものと評価する。	・今後の太陽光パネルの配置等の検討においては、身近な視点場における景観の状況を踏まえて検討する。 ・今後、現地調査により身近な視点場における景観の状況等を把握し、事業による影響の予測を行い、必要に応じて環境保全措置を検討する。

第5章 計画段階環境配慮書を委託した事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

委託事業者の名称　　：国際航業株式会社

代表者の氏名　　　　：代表取締役社長　　土方　聡

主たる事務所の所在地：東京都新宿区北新宿2丁目21番1号